

## 第 6 章



# いたばしグリーンプラン 2035 第 1 期実施計画

- 1 第 1 期実施計画について
- 2 実施する施策

# 6 いたばしグリーンプラン 2035 第 1 期実施計画

---

## 令和 8 年度から 3 年間の実施計画

### 第 1 期実施計画について

- 「いたばしグリーンプラン 2035」の将来像を実現するため、計画の初期 3 年間（令和 8（2026）年度から令和 10（2028）年度）における具体的な取組内容を定めます。
- 3 つの基本方針と 11 の実施方針及び 1 つの横断的施策に基づく 29 の施策を対象とし、各施策の事業量を明確にすることで計画の実効性を高めることを目的とします。

### 実施する施策

- 11 の実施方針及び 1 つの横断的施策に沿って、29 の施策の具体的な内容を示します。
- 施策ごとに、施策概要、具体的な事業計画、担当課・パークマネジメントに寄与する事業を明記します。
- 事業計画では、個別の事業、評価指標、そして令和 8（2026）年度から令和 10（2028）年度までの年度別実施内容を一覧表で詳しく示します。

## 1

## 第1期実施計画について

## (1) 第1期実施計画の位置づけ

本実施計画は、「いたばしグリーンプラン 2035」（以下「本計画」という。）に掲げる将来像「“ひと”と“みどり”の共生でウェルビーイングが叶うまち「いたばし、」の実現に向け、計画期間（令和8（2026）年度から令和17（2035）年度）のうち、令和8（2026）年度から令和10（2028）年度までの3年間における具体的な取組内容を示すものです。

これにより、本計画の施策を着実に推進するとともに、この実効性を高めます。

## (2) 計画期間

令和8（2026）年度から令和10（2028）年度までの3年間とします。

なお、社会状況の変化や事業の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

### (3) 実施する施策

本計画に定める3つの基本方針、11の実施方針及び1つの横断的施策に基づく29の施策について、第1期（令和8（2026）年度から令和10（2028）年度）に実施する具体的な事業を対象とします。

基本方針	実施方針（目標）	実施する施策（00：パークマネジメント関連施策）	頁
Ⅰ 「みらいが つながる」	1 緑の資産の保全と継承	01 樹林地の保全と継承 ○	P105
		02 歴史ある大径木等の保全	P106
		03 板橋らしさを代表する緑の景観の保全 ○	P107
	2 農のみどりの保全と活用	04 農地の保全と継承 ○	P108
		05 農業の保全と継承 ○	P109
		06 未来へつなげる農作物の活用 ○	P110
	3 湧水の保全とうるおいのある水辺空間の創出	07 湧水の保全	P111
		08 親しめる水辺づくり ○	P112
	4 生物多様性の向上による生態系の保全と再生	09 自然環境実態調査の実施	P113
		10 エコロジカルネットワークの形成 ○	P114
Ⅱ 「まちが つながる」	5 都市の拠点となるみどりの創出	11 まちづくりによるみどりの創出 ◎	P115
		12 公園改修・拡張による区内外のみんなが集う空間の創出 ○	P116
	6 拠点間を結ぶみどりの創出	13 みどりの回遊性の創出 ○	P117
		14 歩きたくなるまちに向けた魅力発信	P118
	7 まちなかに広げるみどりの創出	15 街並みの緑化推進 ○	P119
		16 公園の新設・改修による地域のみんなが集う空間の創出 ○	P120
		17 公園施設の改修	P121
		18 学校のみどりの保全と活用 ○	P122
	8 暮らしを支える安心・安全の創出	19 森林環境譲与税の活用促進 ◎	P123
		20 安心・安全なまちへ向けたみどりの活用 ○	P124
Ⅲ 「ひとが つながる」	9 みどりをみんなで使いこなす	21 柔軟なルールの検討 ○	P125
		22 みんなのやりたいを実現させる仕組みづくり ○	P126
	10 みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成	23 みどりとふれあう機会づくり	P127
		24 みどりを学ぶ機会づくり	P128
		25 みどりと活動する機会づくり	P129
		26 みどりで連携する機会づくり ○	P131
		27 みどりと人をつなぐ仕組みづくり ○	P132
横断的施策	DXによるみどりの機能の発揮	28 デジタルツールの活用 ◎	P133
		29 E B P M(根拠に基づく政策立案)の実施 ◎	P134

◎：新規の施策

○：バージョンアップ



## 2

## 実施する施策

## 基本方針Ⅰ みらいがつながる

## 実施方針1 緑の資産の保全と継承

## 施策01 樹林地の保全と継承

レガシーとなるみどりを守る、みどりの魅力を更に引き出す

- 民有地における樹林地について、用地取得のほか、管理費助成による維持管理の負担軽減、国や都への相続税の優遇要望により民有樹林地の保全を行います。
- 公有地の樹林地は、適切な維持管理により樹林地の持つ存在価値、利用価値を向上させます。
- これにより、みどりの保全と質の向上につなげ、みどりの基盤形成を図ります。
- なお、樹林地の用地取得や適切な維持管理について、都市緑地法改正に伴い新設された機能維持増進事業の活用など、国や都の補助金をはじめとした補助制度の活用を積極的に検討します。また、活用の際には、該当する機能維持増進事業に係る実施の方針や、都市計画事業認可に係る必要な法定項目などについて、別途定めてホームページなどにより公表します。



特別緑地保全地区（大門東の森）



保存樹林（中台地区）



樹林地管理計画対象（小豆沢公園・ニリンソウ群生地）

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)公有地化による緑の保全と継承	用地取得進捗	対象樹林地の抽出・選定	対象樹林地の抽出・選定 所有者への働きかけ	対象樹林地の抽出・選定 所有者への働きかけ・ 用地取得
(2)保存樹林・竹林制度	指定面積維持	31,316 m <sup>2</sup> 維持	31,316 m <sup>2</sup> 維持	31,316 m <sup>2</sup> 維持
(3)樹林地管理計画に基づく適切な樹林地管理【新規】	計画に基づく適切な維持管理箇所数	樹林地管理計画に基づく適切な維持管理6か所	樹林地管理計画に基づく適切な維持管理6か所	樹林地管理計画に基づく適切な維持管理6か所

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)、土木部 南部・北部土木サービスセンター (3)

パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

グリーンインフラとしての保全・利活用

- 公有地化による緑の保全と継承
- 樹林地管理計画に基づく適切な樹林地管理

## 施策02 歴史ある大径木等の保全

レガシーとなるみどりを守る、みどりの魅力を更に引き出す

- 民有地における地域の良好な景観形成や文化財的価値のある樹木、生垣に対して各種保存制度を適用し、所有者に対して管理費等の助成を行います。
- これにより、民有地の緑を保全することで、まちなかの骨格となる緑の保全につなげます。
- 地域の良好な景観を形成するうえで重要な道路や公園内の樹木についても景観重要樹木の指定を通じて、保全を図ります。



保存樹木（中台地区のサンシティより写真提供）



名木（諏訪神社の夫婦イチョウ）



景観重要樹木（川越街道の五本けやしき）

### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)保存樹木制度の運用	剪定助成の働きかけ・現指定件数維持	剪定助成の働きかけ 1,610件・指定1,610件	剪定助成の働きかけ 1,610件・指定1,610件	剪定助成の働きかけ 1,610件・指定1,610件
(2)保存生垣制度の運用	働きかけ・相談回数	働きかけ47件・相談の実施47件	働きかけ47件・相談の実施47件	働きかけ47件・相談の実施47件
(3)名木・古木の保全	名木・古木の維持管理の補助	名木・古木の維持管理の補助34件、働きかけ34件	名木・古木の維持管理の補助34件、働きかけ34件	名木・古木の維持管理の補助34件、働きかけ34件
(4)景観重要樹木の指定	新規指定に向けた調査検討	新規指定に向けた調査検討	新規指定に向けた調整1件	新規指定1件

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)、都市整備部 都市計画課 (4)

## 実施方針1 緑の資産の保全と継承

## 施策03 板橋らしさを代表する緑の景観の保全

レガシーとなるみどりを守る、みどりの魅力を更に引き出す

- 板橋十景である石神井川桜並木の維持・保全とともにライトアップを行うことで、みどりの質の向上及び魅力を向上させます。
- 景観形成重点地区の追加指定により、いたばしの強みである緑の景観の維持・形成を図ることで、板橋らしさを代表する緑のレガシーの継承とともにみどりのまちの魅力向上を図ります。



## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)板橋十景である石神井川桜並木の魅力向上	桜並木のライトアップ実施実績 お花見散策ツアー参加者数 75 人	ライトアップイベント1件 ツアー参加者数 25 人	ライトアップイベント1件 ツアー参加者数 25 人	ライトアップイベント1件 ツアー参加者数 25 人
(2)景観形成重点地区の緑の保全と充実	景観形成重点地区の追加指定・検討	赤塚四・五丁目地区の追加指定	新規地区の追加指定検討	新規地区の追加指定検討
(3)石神井川通行空間保全構想【新規】	策定進捗	構想検討 パブリックコメント実施	構想策定	—

区の担当課 産業経済部 くらしと観光課 (1)、都市整備部 都市計画課 (2)、土木部 土木計画・交通安全課 (3)



## 施策04 農地の保全と継承

農地と農業を守る、魅力ある都市農業を展開する

- 区の貴重な農地の保全と継承を行うために生産緑地地区の指定及び農地減少対策を実施します。
- これにより、いたばしのレガシーである農を次の世代に継承し、みどりとふれあう場の基盤形成を図ります。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)生産緑地地区/特定生産緑地の指定及び維持	生産緑地地区等の新規指定数3か所 普及・啓発活動3回	新規指定1か所 普及・啓発活動1回	新規指定1か所 普及・啓発活動1回	新規指定1か所 普及・啓発活動1回
(2)農のみどり保全 重点地区における事業推進	農地確保(貸借・取得)箇所数3か所	農地の確保(貸借・取得)	農地の確保(貸借・取得)	農地の確保(貸借・取得)
(3)区民農園の運営	運営箇所数	区民農園の運営23か所	区民農園の運営24か所	区民農園の運営24か所
(4)公園内における農業スペースの整備				
板橋公園(交通公園)の再整備	整備進捗	コミュニティファーム(農園)整備工事	コミュニティファーム(農園)整備完了・運用開始	コミュニティファーム(農園)運用
高島平緑地(高島平九丁目地区)の再整備【新規】	再整備計画進捗 社会実験実施 公民連携事業	再整備基本計画 農の社会実験	農の公民連携事業	農の公民連携事業

区の担当課 産業経済部 赤塚支所 (1) (2) (3)、都市整備部 都市計画課 (1)、土木部 公園整備担当課 (4)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

担い手の拡大と共創/グリーンインフラとしての保全・利活用

- 区民農園の運営
- 公園内における農業スペースの整備

## 実施方針2 農のみどりの保全と活用

## 施策05 農業の保全と継承

## 農地と農業を守る、魅力ある都市農業を展開する

- 農地やそこで生産された農産物を通じた、農とふれあう機会や農業に従事する人材の育成に取り組むことで、区内における農業の魅力を広く啓発し、継続的な都市農業の発展を実現します。



ジャガイモ掘り体験の様子



農業まつりのシンボル・野菜宝船



ふれあい農園会給食

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)公園内における農業スペースの整備				
板橋公園（交通公園）の再整備【新規】	施策 04 に掲載			
高島平緑地（高島平九丁目地区）の再整備【新規】	施策 04 に掲載			
(2)区民農園の運営	施策 04 に掲載			
(3)農業体験農園の運営、農のイベントの実施、板橋ふれあい農園会の活動	事業実施回数 農業まつり来場者数 255,000 人	農業体験農園の運営 （収穫体験の実施 7 品目） 小・中学校給食食材提供事業 4 回 農業まつりの来場者数 85,000 人	農業体験農園の運営 （収穫体験の実施 8 品目） 小・中学校給食食材提供事業 4 回 農業まつりの来場者数 85,000 人	農業体験農園の運営 （収穫体験の実施 8 品目） 小・中学校給食食材提供事業 4 回 農業まつりの来場者数 85,000 人
(4)農業体験学校の運営、農業スキル育成講習の運営	講習会実施回数 216 回	農業体験学校の講習会実施 ・通年型講習年間 30 回 ・短期型講習年間 10 回 ・収穫イベント年間 2 回 農業スキル育成講習の実施 30 回	農業体験学校の講習会実施 ・通年型講習年間 30 回 ・短期型講習年間 10 回 ・収穫イベント年間 2 回 農業スキル育成講習の実施 30 回	農業体験学校の講習会実施 ・通年型講習年間 30 回 ・短期型講習年間 10 回 ・収穫イベント年間 2 回 農業スキル育成講習の実施 30 回
(5)農のサポーターの活動	農のサポーター活動 人数 36 人	農のサポーター活動人数 10 人	農のサポーター活動人数 12 人	農のサポーター活動人数 14 人

区の担当課 土木部 公園整備担当課 (1)、産業経済部 赤塚支所 (2) (3) (4) (5)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

## 担い手の拡大と共創／グリーンインフラとしての保全・利活用

- 公園内における農業スペースの整備
- 区民農園の運営

## 施策06 未来へつなげる農作物の活用

### 農地と農業を守る、魅力ある都市農業を展開する

- 農業経営に係る相談・支援機能を持つネットワークを継続するとともに、農家の用地取得や直売所の開設費助成により区内産野菜の地産地消を増やし、農業への理解を促すことで、区の農への愛着を高めます。
- また、農業者と連携した、区内産農産物の直売会を区施設において実施することで、農業者とのふれあいの機会を創出し、農業振興及び農の啓発による、農地と農業の保全につなげます。
- 赤塚植物園や板橋公園、高島平緑地における農作物の管理から収穫までの体験を通して農とふれあうことで、「農×区民（利用者）」により、農の様々な可能性を創出します。



ファーマーズショップ「にりん草」(高島平)  
JAグループホームページより



保育園児による農業体験(赤塚植物園)

#### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1) 農業経営支援のための都と連携したネットワーク継続	認定農業者(経営改善のための計画)の認定数維持	都との連携による認定農業者の維持2人	都との連携による認定農業者の維持2人	都との連携による認定農業者の維持2人
(2) 農業者支援の補助事業【新規】	農業者支援の補助事業件数	「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」補助1件	「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」補助1件	「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」補助1件
(3) 農業者と連携した農産物直売会の実施【新規】	直売会実施回数	区内産農産物直売会7回	区内産農産物直売会7回	区内産農産物直売会7回
(4) 農作物の管理収穫体験を通じた農のふれあい事業(赤塚植物園の農業体験・里山体験・食育体験の開催、公園内における農業スペース整備)		施策04、24に該当する事業の実施		

区の担当課 産業経済部 赤塚支所 (1) (2) (3)、土木部 みどりと公園課 (4)

### パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

#### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

##### グリーンインフラとしての保全・利活用

- 農作物の管理収穫体験を通じた農のふれあい事業



## 実施方針3 湧水の保全とうるおいのある水辺空間の創出

## 施策07 湧水の保全

## うるおいの源である崖線の湧水を守る

- 湧水の保全が必要なエリアである「湧水保全地域」の指定を維持し、区内の健全な水循環を維持するとともに、雨水浸透施設の積極的な設置促進などにより湧水涵養の取組を進めます。
- また、湧水を起点としたガイドツアーを開催することにより、水循環の保全の重要性を啓発することで、区民の湧水をはじめとしたみどりの保全意識を高め、着実な湧水の保全を図ります。
- なお、「施策01 樹林地の保全と継承」「施策04 農地の保全と継承」により、地下水を涵養する機能を持つ樹林地・農地を保全し、水循環の健全化と安定的な水資源の確保を図ります。



資料：いたばしの河川 昭和61年度 板橋区教育委員会、  
湧水マップ 平成25年度 東京都環境局



不動の滝 (赤塚八丁目)

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1) 湧水保全地域の指定維持	湧水保全地域の指定維持3か所	湧水保全地域3か所維持	湧水保全地域3か所維持	湧水保全地域3か所維持
(2) 雨水涵養の取組	雨水貯留タンクの設置60基	雨水貯留タンクの設置20基	雨水貯留タンクの設置20基	雨水貯留タンクの設置20基
(3) 湧水の活用促進	湧水をはじめとした浸水スポットにおけるガイドツアーの実施回数3回	湧水ガイドツアーの実施1回	湧水ガイドツアーの実施1回	湧水ガイドツアーの実施1回
(4) 樹林地・農地の保全推進における水源涵養機能の維持	施策01～04に該当する事業の実施			

区の担当課 資源環境部 環境政策課 (1) (2)、土木部 みどりと公園課 (3) (4)

パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

## グリーンインフラとしての保全・利活用

- 雨水涵養の取組
- 湧水の活用促進

## 施策08 親しめる水辺づくり

### 親しめる水辺空間を創出する

- 水辺や親水公園をはじめとした親水スポットの魅力向上に取り組み、水辺空間がより活用され、区民に親しまれるような空間を創出します。
- これにより、みどりと関わりを持つきっかけとなる機会を持たせることで、みどりの「質の向上」につなげるとともに、みどりと関係創出に取り組みます。
- また、みどりの活動を通して、みどりへの愛着をはぐくむことで、みどりを守る意識を醸成させ、「みどりの保全」につなげます。



荒川戸田橋緑地（生物生態園）



かわまちづくりの拠点となる「水辺のにぎわい・アウトドアゾーン」

### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和 8 年度（2026）	令和 9 年度（2027）	令和 10 年度（2028）
(1)かわまちづくりによるにぎわいの創出				
にぎわい拠点づくり	コアエリアの整備・運営 車両・トイレ等工作物の導入	コアエリア調査・基本設計 車両等工作物製作準備	事業者公募実施 車両等工作物製作	詳細設計・整備 車両等活用
にぎわい機能拡充ほか	ソフト事業充実 荒川戸田橋陸上競技場の改修・機能向上 プロムナード整備	トライアル・サウンディング実施 荒川戸田橋陸上競技場の改修・機能向上 プロムナード整備	にぎわい機能の拡充 荒川戸田橋陸上競技場の改修・機能向上 プロムナード整備	にぎわい機能の拡充 プロムナード整備
(2)親水公園の活用	見次公園でのポート貸出数 6,300 隻	2,100 隻	2,100 隻	2,100 隻
(3)石神井川通行空間保全構想【新規】	施策 03 に掲載			

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1)、土木部 かわまちづくり計画担当課 (1)  
土木部 南部土木サービスセンター (2)、土木部 土木計画・交通安全課(3)

パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

グリーンインフラとしての保全・利活用

- 親水公園の活用



## 実施方針4 生物多様性の向上による生態系の保全と再生

## 施策09 自然環境実態調査の実施

## 生物多様性を守る、みどりと共生関係の基盤を築く

- 自然環境実態調査を通して、みどりの環境施策の効果測定を行い、みどりの保全と継承にかかわる施策の評価・課題の抽出・改善を行います。
- また、区民に参加していただく自然観察事業などを実施することで、継続的な区の自然環境の把握に努めるとともに、区民のみどりに対する意識醸成を図ります。
- これにより、適切な評価にもとづく施策の実施に取り組むとともに、区内のみどりの評価を見える化することによる、みどりの魅力や価値を広め、みどりの保全への意識啓発を図ります。



生物多様性基礎調査

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)河川生物調査	調査実施数	河川生物調査の実施 (白子川) 1 河川	河川生物調査の実施 (石神井川) 1 河川	河川生物調査の実施 (白子川) 1 河川
(2)湧水の保全	調査実施数 12 か所	湧水量測定の実施 4 か所	湧水量測定の実施 4 か所	湧水地点数調査の実施 湧水量測定の実施 4 か所
(3)河川・地下水水質調査	調査実施数 河川調査 36 回 地下水調査 3 回	河川調査 12 回 地下水調査 1 回	河川調査 12 回 地下水調査 1 回	河川調査 12 回 地下水調査 1 回
(4)生物多様性に関する基礎調査	調査実施有無	(令和6年実施) (補完調査の検討)	調査実施 (3年毎に実施)	(次回令和12年実施予定)
(5)緑地・樹木の実態調査	調査実施有無	(令和6年実施) (5年毎に実施)	—	(次回令和11年実施予定)

区の担当課 資源環境部 環境政策課 (1) (2) (3) (4)、土木部 みどりと公園課 (5)

## 施策10 エコロジカルネットワークの形成

### 生物多様性を守る、みどりとの共生関係の基盤を築く

- みどりを生物の生息域の生育環境の視点から捉え、区特有の地形を活かした保全と質の向上のための環境整備を実施することで生物にとって住みよいみどりのネットワーク形成を行います。
- これにより、みどりが持つ機能を向上させ、みどりと人の共生基盤の保全と形成を図ります。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)樹林地管理計画に基づく適切な樹林地管理【新規】	施策01に掲載			
(2)ビオトープネットワークの推進	活用推進事業	区内ビオトープ実態調査	活用推進事業の実施1回	活用推進事業の実施2回
(3)樹林地・農地・湧水の維持・保全によるみどりの機能発揮	施策01、02、04、08に掲載			
(4)外来生物への対応	苦情件数の減少	245件	240件	235件
(5)まちづくりによるみどりの創出【新規】	施策11に掲載			

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (3) (5)、資源環境部 環境政策課 (2) (4)

パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

グリーンインフラとしての保全・利活用

- ビオトープのネットワークの推進



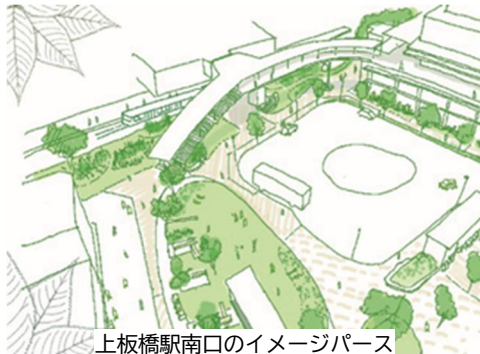
## 基本方針Ⅱ まちがつながる

### 実施方針5 都市の拠点となるみどりの創出

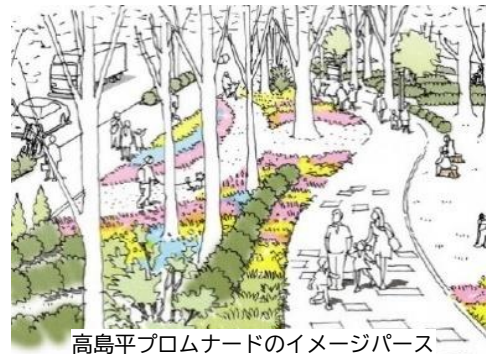
### 施策11 まちづくりによるみどりの創出

魅力的で快適なみどりの拠点を創出する、愛着をはぐくみつなぐまちを実現する

- まちづくり事業における、拠点となる緑地整備を通して、区内の新たな緑の創出を図ります。
- これにより、日常的にみどりとつながる環境を創出し、人とみどりをつなげるほか、人と人をつなげることで、地域のにぎわいを生み出すとともに、みどりを通じて地域への愛着が向上し、区民満足度を高めます。



上板橋駅南口のイメージパース



高島平ブルームナードのイメージパース

#### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)まちづくり事業の公民連携によるみどりの空間整備				
大山町ピッコロ・スクエア周辺地区市街地再開発事業【新規】	設計進捗	基本設計	詳細設計	詳細設計
上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発事業【新規】	整備進捗	整備 地域ウォーカブル戦略検討	整備 地域ウォーカブル戦略検討	整備完了 地域ウォーカブル戦略検討
板橋駅周辺事業（板橋口地区再開発）【新規】	整備進捗	整備	整備完了	—
板橋駅周辺事業（西口地区再開発）【新規】	整備進捗	整備	整備	整備 （令和11年度整備完了）
板橋駅周辺事業（駅前広場再開発）【新規】	設計・整備進捗	実施設計	整備着手	整備 （令和11年度整備完了）
高島平交流核形成事業【新規】	交流核形成事業整備進捗	交流核形成事業	交流核形成事業	交流核形成事業

区の担当課 まちづくり推進室 まちづくり調整課 (1)、まちづくり推進室 地区整備課 (1)  
まちづくり推進室 高島平まちづくり推進課 (1)

#### パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応

#### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

居心地が良く、誰もが安心・安全で、快適に過ごせる空間づくり

- まちづくり事業の公民連携によるみどりの空間整備

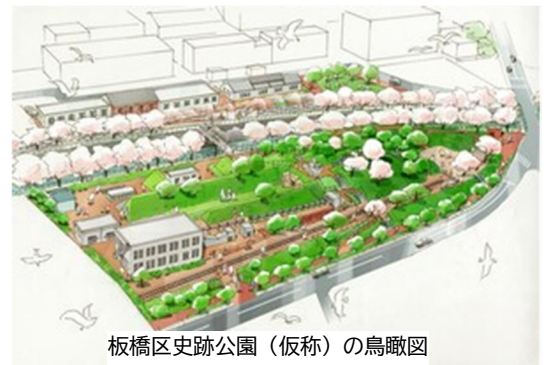
## 施策12 公園改修・拡張による区内外のみんなが集う空間の創出

魅力的で快適なみどりの拠点を創出する、愛着をはぐくみつなぐまちを実現する

- 公民が連携した整備・運営を行う「板橋公園」や、近代化・産業遺産を活用した都内初となる「史跡公園」の整備など、区内外から人々が集う、まちの人の流れをかえる拠点として、公園の再整備を進めます。新たな公園・緑地の設置や既存公園・緑地の拡張などによるみどりの創出とみどりの質の向上をめざします。
- このことにより、日常的にみどりとつながる環境を創出し、地域のにぎわいを生み出すとともに、みどりによる地域への愛着を向上させ、区民満足度を高めます。



板橋公園の鳥瞰図



板橋区史跡公園（仮称）の鳥瞰図

### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)板橋公園(交通公園)の再整備【新規】	公園開設	公園整備・複合施設整備 建築工事・道路測量 (令和7～8年度)	公園開設	—
(2)板橋区史跡公園(仮称)の設計・整備	設計・整備進捗	公園整備基本設計 公園用地買戻し	公園整備実施設計	公園整備工事 (令和10～11年度)
(3)旧中央図書館(常盤台公園)の設計・再整備	計画・整備進捗	整備構想・基本計画	基本設計	詳細設計
(4)高島平緑地(高島平九丁目地区)の再整備【新規】	施策04に掲載			

区の担当課 土木部 公園整備担当課 (1)(4)土木部 みどりと公園課 (2)(3)  
教育委員会事務局 史跡公園担当課 (2)土木部 土木計画・交通安全課 (3)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

居心地が良く、誰もが安心・安全で、快適に過ごせる空間づくり

- 板橋公園(交通公園)の再整備
- 板橋区史跡公園(仮称)の設計・整備
- 旧中央図書館(常盤台公園)の設計・再整備
- 高島平緑地(高島平九丁目地区)の再整備

## 実施方針6 拠点間を結ぶみどりの創出

## 施策13 みどりの回遊性の創出

## 魅力的な拠点を結ぶみどりの道を創出する

- まちづくり事業など、公民連携によるみどりの創出により、回遊性の創出を図ります。
- また、みどりの維持管理の質を向上させるため、樹木管理に関する職員研修を継続的に実施するとともに、街路樹のほか公園緑道の樹木点検や診断により、適切な維持管理に向け取り組み、みどりの質を高めます。
- このことより、みどりと親しめる基盤の構築を図ります。

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和 8 年度（2026）	令和 9 年度（2027）	令和 10 年度（2028）
(1)公民連携のみどり空間の創出による回遊性の向上				
大山町ピッコロ・スクエア 周辺地区市街地再開発事業 【新規】		施策 11 に掲載		
上板橋駅南口駅前東地区市 街地再開発事業【新規】		施策 11 に掲載		
板橋駅周辺事業 （駅前広場再開発）【新規】		施策 11 に掲載		
高島平交流核形成事業 【新規】		施策 11 に掲載		
(2)街路樹診断による質の 向上	樹木診断実施有無 樹木点検実施回数 6 回	(令和 4 ・ 6 年度診断済) 職員による点検 2 回	(令和 4 ・ 6 年度診断済) 職員による点検 2 回	街路樹危険度診断の実施 職員による点検 2 回
(3)公園緑道の樹木診断に よる質の向上【新規】	樹木診断実施有無 樹木点検実施回数 6 回	公園緑道樹木の危険度診断の実施 職員による点検 2 回	公園緑道樹木の危険度診断の実施 職員による点検 2 回	— 職員による点検 2 回
(4)樹木管理に関する技術 の向上	情報発信回数 18 回	区民向け樹木管理の情報発信 6 回	区民向け樹木管理の情報発信 6 回	区民向け樹木管理の情報発信 6 回
(5)樹冠被覆率拡大のため の手法検討	検討進捗	方針検討	試行	本格実施

区の担当課 まちづくり推進室 まちづくり調整課 (1)、まちづくり推進室 地区整備課 (1)  
まちづくり推進室 高島平まちづくり推進課 (1)  
土木部 南部・北部土木サービスセンター (2) (3) (5)、土木部 みどりと公園課 (4) (5)

## パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

居心地が良く、誰もが安心・安全で、快適に過ごせる空間づくり

- 公民連携のみどり空間の創出による回遊性の向上
- 公園緑道の樹木診断による質の向上
- 樹木管理に関する技術の向上
- 樹冠被覆率拡大のための手法検討





## 施策14 歩きたくなるまちに向けた魅力発信

### 歩きたくなるまちを実現する

- 区の強みであるみどりの魅力を発信することで、自然にみどりにつながりたいと思える機会を創出し、日常生活のなかにみどりを取り入れるきっかけづくりと、その継続を図ります。
- これにより、生活を豊かにするとともに、地域の活性化や区民満足度の向上を図ります。
- 区の公園やみどりの魅力を発信することで、子どもや若者・子育て世代が誇りに思うまちづくりを推進します。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1) 季節ごとの魅力情報の発信	SNSによる発信件数 63 件	季節の植物魅力発信 8 件 公園・緑地等魅力発信 9 件	季節の植物魅力発信 8 件 公園・緑地等魅力発信 9 件	季節の植物魅力発信 8 件 公園・緑地等魅力発信 9 件
(2) 区独自の魅力情報の発信	SNSによる発信件数 12 件	崖線・河川敷等の自然を感じる公園、やりたいが叶う公園、特色ある公園等の魅力発信 4 件	崖線・河川敷等の自然を感じる公園、やりたいが叶う公園、特色ある公園等の魅力発信 4 件	崖線・河川敷等の自然を感じる公園、やりたいが叶う公園、特色ある公園等の魅力発信 4 件
(3) 情報発信の効果測定	SNSフォロワー数 投稿1件あたりの閲覧数・エンゲージメント数等	フォロワー数前年度以上 閲覧数・エンゲージメント数前年度以上	フォロワー数前年度以上 閲覧数・エンゲージメント数前年度以上	フォロワー数前年度以上 閲覧数・エンゲージメント数前年度以上
(4) ガイドマップによる情報発信	配布冊数 105,000 冊・ホームページ閲覧回数	配布冊数 35,000 冊・閲覧回数前年度以上	配布冊数 35,000 冊・閲覧回数前年度以上	配布冊数 35,000 冊・閲覧回数前年度以上
(5) ウォーキングコース等の情報発信及び区内資源を通じた地域の活性化	検討進捗	検討	検討	検討

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)、産業経済部 くらしと観光課 (4)  
区民文化部 スポーツ振興課 (5)

## 実施方針7 まちなかに広げるみどりの創出

## 施策15 街並みの緑化推進

公民連携によるまちなかのみどりを創出する、居心地のよいまちを実現する

- 民有地の内、緑化指導をはじめとした緑化の推進により、新たな緑を創出すると共に、道路部分に面したみどりの配置により、まちなかで感じられるみどりを増やすことで、日常生活の中でのみどりとのかかわりとにぎわいを創出し、区民満足度を向上させます。



接道部緑化イメージ



集合住宅の緑化事例

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1) 界わい緑化による緑化の推進 【新規】	界わい緑化による活動団体数	専門家との働きかけ	専門家との働きかけによる1団体抽出、工事助成	専門家との働きかけによる1団体抽出、工事助成
	緑化推進地域の指定	1地区指定	同地区の継続	同地区の継続
(2) 緑化指導による緑化の推進	緑化指導による創出面積 42,702 m <sup>2</sup>	地上部緑化実績面積 14,234 m <sup>2</sup>	地上部緑化実績面積 14,234 m <sup>2</sup>	地上部緑化実績面積 14,234 m <sup>2</sup>
(3) 緑のカーテンの普及・啓発(学校除く)	区施設における緑のカーテン設置数	緑のカーテン設置 87 か所	緑のカーテン設置 88 か所	緑のカーテン設置 89 か所

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2)、資源環境部 環境政策課 (3)



## 施策16 公園の新設・改修による地域 みんなが集う空間の創出

公民連携によるまちなかのみどりを創出する、居心地のよいまちを実現する

- 地域住民にとって身近な公園・緑地については、地域の実情やニーズを捉え、計画的な新設・改修を行います。整備においては、ユニバーサルデザイン\*に基づき、利用者の視点に立って進めることで、地域 みんなが集える空間を創出します。
- 改修に伴い、樹冠拡大を見越した植栽の植替えや、裸地の芝生化など、みどりの創出・拡大に取り組めます。
- これにより、地域の誰もが使いやすい、身近でかつ、安心・安全で快適な公園・緑地とすることで、地域への愛着を向上させ区民満足度を高めるとともに、公園率、緑被率の向上をめざします。



大門東の森公園（令和6年度 特別緑地保全地区指定）

事例紹介 ～特別緑地保全地区における公園整備～  
（大門東の森公園で整備を予定している内容）

- ・ 樹林地保全のための閉鎖管理柵の設置
- ・ 樹木維持保全管理のための管理車両用スロープの設置
- ・ 樹木を養生するための支柱設置
- ・ 低木の植栽
- ・ 広場・出入口の整備
- ・ 土留めの設置
- ・ 排水施設の設置
- ・ 案内看板の設置

### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)公園の新設・拡張 【新規】	大門東の森公園整備工事・実施設計1か所	大門東の森公園整備工事	—	—
	実施設計箇所	—	基本設計1か所	実施設計1か所
(2)公園の改修 【新規】	整備・設計箇所 17か所	公園改修工事3か所 公園改修設計委託3か所	公園改修工事1か所 公園改修設計委託4か所	公園改修工事3か所 公園改修設計委託3か所

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

自主性・自律性の向上

- 公園の新設・拡張
- 公園の改修



## 実施方針7 まちなかに広げるみどりの創出

## 施策17 公園施設の改修

公民連携によるまちなかのみどりを創出する、居心地のよいまちを実現する

- 地域の実情やニーズ、利用者の視点に立ったユニバーサルデザインのほか、老朽度やトイレの配置状況、DXを活用した施設の利用実績などを捉えた「トイレの配置計画」、「遊具の長寿命化計画」に基づく計画的な公園施設の改修により、コスト抑制に務めるとともに、誰もが安心・安全で快適に利用できる居心地の良い空間整備とする、誰もが訪れたくなるみどりの環境を創出します。
- これにより、日常生活の中でみどりとのかかわる機会を創出し、みどりの機能が十分に発揮された、みどりとの関係創出による区民満足度の向上をめざします。



バリアフリースイートイレ改修



噴水施設の改修（高島平七丁目公園）

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)公園トイレの改修整備	整備箇所数16か所	トイレ改修・工事監理 3か所 トイレ設計2か所	トイレ改修・工事監理 2か所 トイレ設計3か所	トイレ改修・工事監理 3か所 トイレ設計3か所
(2)公園遊具の改修整備	改修箇所数150基	遊具更新・修繕・塗装50基	遊具更新・修繕・塗装50基	遊具更新・修繕・塗装50基

区の担当課 土木部 みどりと公園課（1）（2）

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

自主性・自律性の向上／公園DXの推進

- 公園トイレの改修整備
- 公園遊具の改修整備

## 施策 18 学校のみどりの保全と活用

公民連携によるまちなかのみどりを創出する、居心地のよいまちを実現する

- 緑のカーテンやビオトープの活用、屋上緑化の推進を通じて、学校施設に人と自然とが触れ合う空間を創出し、環境に対する子どもたちの豊かな感受性をはぐくみます。



新河岸小学校の緑のカーテン



緑小学校のビオトープ

### ◆ 第 1 期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)	令和 10 年度 (2028)
(1) 緑のカーテンの普及・啓発	緑のカーテン事業実施済学校数維持	73 校	73 校	73 校
(2) ビオトープの保全・活用	ビオトープ設置済学校数維持	10 校	10 校	10 校
(3) 屋上緑化の保全・活用【新規】	屋上緑化導入済学校数	6 校	7 校	8 校

区の担当課 教育委員会事務局 教育総務課 (1)、新しい学校づくり課 (2) (3)

## 実施方針8 暮らしを支える安心・安全の創出

## 施策19 森林環境譲与税の活用推進

持続可能で安心・安全なまちをみどりで創出する

- みどりの質の向上のため森林環境譲与税の活用を推進することによる、グリーンインフラの機能を最大限に発揮させます。
- このことを通して、みどりとの共生関係の基盤構築と、みどりへの意識向上を図り、みどりによる豊かな暮らしの実現で区民満足度を向上させます。



区立保育園で板橋区版木育プログラム～「いたばしのおはし」  
(資源環境部 環境政策課)



日光市の「板橋区の森」維持管理  
(土木部 みどりと公園課)

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1) 森林環境譲与税の活用	活用実績有無	活用事業1件以上	活用事業1件以上	活用事業1件以上

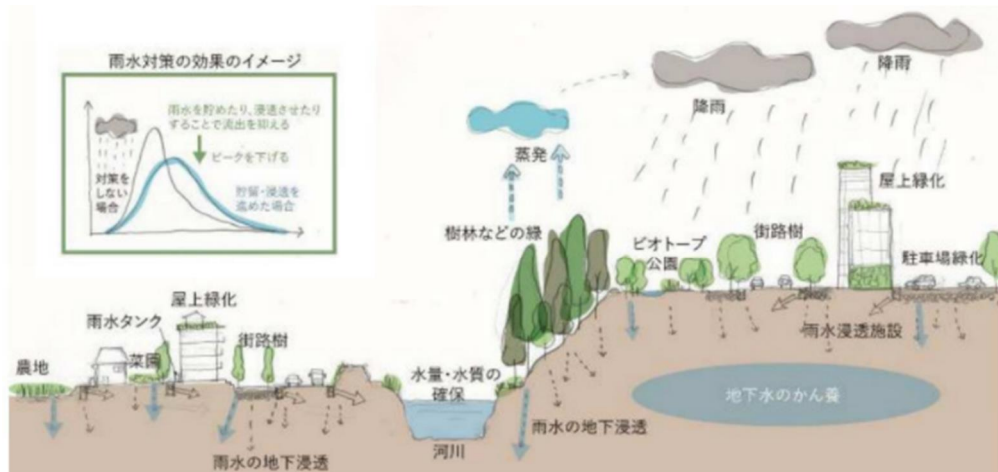
区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1)



## 施策20 安心・安全なまちへ向けたみどりの活用

持続可能で安心・安全なまちをみどりで創出する

- 樹林地・農地の保全、新たな公園・緑地の整備などによる、ゼロカーボン、集中豪雨などの自然災害への対応のほか、誰もが訪れたいくなるみどりと触れ合える環境とするために、犯罪の抑止効果となるパトロールや防犯カメラの設置をはじめとした、防犯への取組などを進めることで、みどりの機能を向上・発揮させ、みどりを通した安心・安全で快適なまちの実現をめざします。



緑を生かした雨水の流出抑制のイメージ

(さいたま市緑の基本計画  
令和5(2023)年11月より抜粋)

### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)樹林地・農地・みどりの施設における水源涵養機能の創出・維持		施策01、02、04、07、10、11、12、13、15、16、19に該当するみどりの創出や機能向上に関する事業の実施		
(2)街路樹診断による質の向上		施策13に掲載		
(3)公園緑道の樹木診断による質の向上【新規】		施策13に掲載		
(4)防犯への取組	青色回転灯を装備したパトロールカーによる巡回 防犯カメラ設置公園数 (令和7年度43公園)	青色回転灯を装備したパトロールカーによる巡回・点検 防犯カメラの設置運用	青色回転灯を装備したパトロールカーによる巡回・点検 防犯カメラの設置運用	青色回転灯を装備したパトロールカーによる巡回・点検 防犯カメラの設置運用

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1)、土木部 南部・北部土木サービスセンター (2)(3)(4)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

居心地が良く、誰もが安心・安全で、快適に過ごせる空間づくり／グリーンインフラとしての保全・利活用

- 樹林地・農地・みどりの施設における水源涵養機能の創出・維持
- 公園緑道の樹木診断による質の向上
- 防犯への取組

## 基本方針Ⅲ ひとがつながる

## 実施方針9 みどりをみんなで使いこなす

## 施策21 柔軟なルールの検討

みどりの空間をより柔軟に活用する、みどりの魅力を引き出す

- これまでの公園の画一的な管理・運営を見直し、地域のニーズや実態に応じたルール策定や運用を行い、公園における「みんなのやりたいを叶える」ことで、公園運営への利用者の意識を高めるとともに、公園の魅力と価値を高め、みどりの区民満足度を向上させます。



ボール遊び制限緩和



公園における花火の利用

キッチンカー  
グリーンフェスタ（赤塚植物園）

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)画一的な管理の見直し	ボール遊び・花火規制緩和実施箇所・実施進捗	試験運用4か所	実施箇所拡大に向けた検討	実施箇所拡大に向けた検討
(2)利便施設の導入	キッチンカー導入回数210回	70回	70回	70回
(3)ルール検討のための実証実験				
高島平緑地(高島平九丁目地区)の再整備【新規】	施策04に掲載			

区の担当課 土木部 南部・北部土木サービスセンター（1）、土木部 みどりと公園課（1）（2）  
土木部 公園整備担当課（3）

パークマネジメント目標2 いろいろなことができる公園をつくります に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

## 利用ルールの弾力化

- 画一的な管理の見直し
- ルール検討のための実証実験

## 自主性・自律性の向上

- 利便施設の導入

## 施策22 みんなのやりたいを実現させる仕組みづくり

みどりの空間をより柔軟に活用する、みどりの魅力を引き出す

- 受入体制の仕組みを構築し、自主的な活動を支援することで、みどりの空間利用の活性化を図ります。
- これまで行ってきた町会イベントの受入を継続するとともに、区民や事業者が企画するイベント活動を通して、地域のみどりへの愛着を深め、みどりの区民満足度を向上させます。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和 8 年度（2026）	令和 9 年度（2027）	令和 10 年度（2028）
(1)区民提案による企画支援の仕組み検討（実証実験等）				
みどりと人をつなぐ 仕組みの導入	制度の導入に向けた調査箇所・イベント回数	ワークショップ実施 2 回、実態調査 10 か所 協働活動実施箇所数 1 回	啓発イベント 5 回、 ステップアップイベント 1 回 協働活動実施箇所数 1 回	啓発イベント 5 回、 ステップアップイベント 1 回 （令和 11 年度制度導入予定） 協働活動実施箇所数 1 回
高島平緑地(高島平九丁目地区)の再整備（実証実験等） 【新規】	施策 04 に掲載			

区の担当課 土木部 みどりと公園課（1）、土木部 公園整備担当課（1）

パークマネジメント目標2 いろいろなことができる公園をつくります に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

自主性・自律性の向上／利用ルールの弾力化

- 区民提案による企画支援の仕組み検討（実証実験等）

## 実施方針 10 みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成

## 施策 23 みどりとふれあう機会づくり

「ふれあう機会」「学ぶ機会」「活動する機会」「連携する機会」を創出する

- 子どもから高齢者までを対象とした、みどりにかかわるイベントを年間を通じて実施することにより、継続的にみどりとつながる「知る・気づく（ふれあう）」機会の創出を図ります。
- また、SNS等を用いた継続的かつ積極的な情報発信（施策 28）により、更なるイベントへの集客を行い、みどりととの関係創出及びその継続を図ります。
- これにより、みどりに関わる関係人口を増加させ、板橋区全体でみどりに関わる満足度を高めるとともに、みどりへの意識を高めることで、みどりの保全と創出への機運醸成につなげます。

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1) 緑のガイドツアーの開催	参加者数 285 人	緑のガイドツアー延べ参加者数 95 人	緑のガイドツアー延べ参加者数 95 人	緑のガイドツアー延べ参加者数 95 人
(2) みどりの街歩きの魅力向上	施策 01、02、03、08、11、12、13、14、15、16、17 ほか みどりの創出に該当する事業の実施			
(3) みどりを楽しむ機運の醸成	イベント実施回数・参加者数 480 人	赤塚植物園イベント参加者数 160 人	赤塚植物園イベント参加者数 160 人	赤塚植物園イベント参加者数 160 人
(4) グリーンフェスタの開催	来場者数 9,000 人	グリーンフェスタ来場者数 3,000 人	グリーンフェスタ来場者数 3,000 人	グリーンフェスタ来場者数 3,000 人
(5) ZOOパークフェスタの開催	来場者数 43,500 人	ZOO パークフェスタ来場者数 14,500 人	ZOO パークフェスタ来場者数 14,500 人	ZOO パークフェスタ来場者数 14,500 人
(6) 農業まつりの開催	施策 05 に掲載			
(7) たかまちみどりの取組推進	ワークショップ実施回数	まちのみどりづくりワークショップの開催4回	まちのみどりづくりワークショップの開催4回	まちのみどりづくりワークショップの開催4回

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3) (4) (5)、産業経済部 赤塚支所 (6)  
まちづくり推進室 高島平まちづくり推進課 (7)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

## 担い手の拡大と共創

- みどりの街歩きの魅力向上
- グリーンフェスタの開催
- ZOOパークフェスタの開催
- 農業まつりの開催

## 担い手の拡大と共創／グリーンインフラとしての保全・利活用

- 緑のガイドツアーの開催



## 施策 24 みどりを学ぶ機会づくり

「ふれあう機会」「学ぶ機会」「活動する機会」「連携する機会」を創出する

- 子どもから高齢者までを対象としたイベント参加者や、みどりに興味のある方の次の「学ぶ（知識・技術を得る）」ステップとして、みどりへの理解を深める講習会や展示会の開催などを行います。
- みどりを学ぶ機会の創出を図り、区民が自らみどりについて学ぶ意識の向上を後押しすることで、みどりが生活のなかでより身近で、欠かせない存在となるみどりとの関係醸成を図り、みどりの保全と創出への機運醸成につなげます。

### ◆ 第 1 期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)	令和 10 年度 (2028)
(1) 農業体験学校の運営、農業スキル育成講習の運営	施策 05 に掲載			
(2) 赤塚植物園の農業体験・里山体験・食育体験の開催	体験イベント実施回数・参加者数 4,200 人	体験イベント実施 28 回 参加者数 1,400 人	体験イベント実施 28 回 参加者数 1,400 人	体験イベント実施 28 回 参加者数 1,400 人
(3) 赤塚植物園の展示会開催	展示会実施 18 回 参加者 6,000 人	展示会実施 6 回 参加者数 2,000 人	展示会実施 6 回 参加者数 2,000 人	展示会実施 6 回 参加者数 2,000 人
(4) みどりの知識と技術を深める講習会などの開催	講習会実施 30 回 参加者 450 人 観察会実施 24 回 参加者 480 人 相談件数 1,200 件	講習会実施 10 回・参加者数 150 人 観察会実施 8 回・参加者数 160 人 相談件数 400 件	講習会実施 10 回・参加者数 150 人 観察会実施 8 回・参加者数 160 人 相談件数 400 件	講習会実施 10 回・参加者数 150 人 観察会実施 8 回・参加者数 160 人 相談件数 400 件
(5) 環境教育・環境学習のイベント・講座等の開催	実施校数 74 校 参加者 124,800 人	テキスト配布 74 校 参加者数 40,550 人	テキスト配布 74 校 参加者数 41,600 人	テキスト配布 74 校 参加者数 42,650 人
(6) たかまちみどりの取組推進	施策 23 に掲載			

区の担当課 産業経済部 赤塚支所 (1)、土木部 みどりと公園課 (2) (3) (4)、資源環境部 環境政策課 (5) 教育委員会事務局 指導室 (5)、まちづくり推進室 高島平まちづくり推進課 (6)

パークマネジメント目標 1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標 3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

#### 担い手の拡大と共創

- 農業体験学校の運営、農業スキル育成講習の運営
- みどりの知識と技術を深める講習会などの開催
- 環境教育・環境学習のイベント・講座等の開催

#### 担い手の拡大と共創／グリーンインフラとしての保全・利活用

- 赤塚植物園の農業体験・里山体験・食育体験の開催



## 実施方針 10 みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成

## 施策 25 みどりと活動する機会づくり

「ふれあう機会」「学ぶ機会」「活動する機会」「連携する機会」を創出する

- みどりと関わるきっかけや学びの、次のステップである、みどりに対して「行動する(活動する)」機会として、農作物や花づくり、緑地管理の場、動物の世話や接客の場の提供、ボランティアとの各種イベントの共同開催などの行動機会の場を創出します。
- 自らがみどりを通した課題解決に対して働きかける意識を向上させ、区民のみどりへの愛着をより強固なものにすることで、みどりの保全と創出への機運醸成につなげます。
- この活動を通して、子どもをはじめとした居場所づくりを進めます。



山中児童遊園の花づくりボランティア



熱帯環境植物館のキッズガーデナー



赤塚新町公園の刈り込みボランティア



東板橋公園のこども動物クラブで作成した地域マップ



板橋区の森の枝打ち作業

◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)区民農園の運営	施策04に掲載			
(2)緑化推進機材の貸出し	貸出回数 642 件	刈込ばさみと高枝切りばさみの貸出件数 214 件	刈込ばさみと高枝切りばさみの貸出件数 214 件	刈込ばさみと高枝切りばさみの貸出件数 214 件
(3)花づくりボランティア活動	活動公園数 活動団体数	活動公園 78 公園 活動団体 83 団体	活動公園 78 公園 活動団体 83 団体	活動公園 79 公園 活動団体 84 団体
(4)地域がつくる公園制度による美化活動	活動公園数 活動団体数	活動公園 26 公園 活動団体 25 団体	活動公園 26 公園 活動団体 25 団体	活動公園 26 公園 活動団体 25 団体
(5)公園刈り込みボランティアによる緑の手入れ	開催回数 18 回 参加者数 120 人	開催回数 6 回 参加人数 40 人	開催回数 6 回 参加人数 40 人	開催回数 6 回 参加人数 40 人
(6)こどもボランティア				
こども動物クラブ	活動者延べ 6,900 人	活動者 2,300 人	活動者 2,300 人	活動者 2,300 人
子どもボランティア(赤塚植物園)	活動者延べ 75 人	活動者 25 人	活動者 25 人	活動者 25 人
キッズガーデナー・ねったいかんクラブ(熱帯環境植物館)	活動回数 72 回	活動回数 24 回	活動回数 24 回	活動回数 24 回
(7)農業体験農園の運営、農のイベントの実施、板橋ふれあい農園会の活動におけるボランティアとの連携	ボランティア派遣延べ人数 180 人	農業関連事業の援農ボランティア派遣延べ人数 50 人	農業関連事業の援農ボランティア派遣延べ人数 60 人	農業関連事業の援農ボランティア派遣延べ人数 70 人
(8)区の花ニリンソウの保全とPRにおけるボランティアとの連携	実施回数 3 回 延べ従事者数 36 人	ニリンソウガイドツアー 1 回、延べ従事者 12 人	ニリンソウガイドツアー 1 回、延べ従事者 12 人	ニリンソウガイドツアー 1 回、延べ従事者 12 人
(9)板橋区の森維持管理	実施回数 6 回	森林ボランティアによる整備 2 回	森林ボランティアによる整備 2 回	森林ボランティアによる整備 2 回

区の担当課 産業経済部 赤塚支所 (1) (7)、土木部 みどりと公園課 (2) (6) (8) (9)  
土木部 南部・北部土木サービスセンター (3) (4) (5)、資源環境部 環境政策課 (6)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標3 未来へつなぐ、すこやかな公園をはぐくみます に対応

◆ パークマネジメントに寄与する事業

担い手の拡大と共創／グリーンインフラとしての保全・利活用

- 区民農園の運営
- 緑化推進機材の貸出し
- 花づくりボランティア活動
- 地域がつくる公園制度による美化活動
- 公園刈り込みボランティアによる緑の手入れ
- こどもボランティア
- 農業体験農園の運営、農のイベントの実施、板橋ふれあい農園会の活動におけるボランティアとの連携



## 実施方針 10 みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成

## 施策 26 みどりで連携する機会づくり

「ふれあう機会」「学ぶ機会」「活動する機会」「連携する機会」を創出する

- 協働活動の課題である活動者の高齢化や固定化、孤立した活動、活動意欲の低下に対して、「伝えて仲間を増やす（連携する）」ステップとして、活動主体や団体への情報発信支援や講習会などを実施します。
- 新たな活動者の参入や、さまざまな活動主体や団体などの交流・連携、これによる活動意欲の向上を図り、持続可能な協働活動を実現し、みどりと人との共生関係を構築します。



X (旧 twitter) による花づくりボランティアの活動紹介



板橋区 SDGs プラットフォームポータルサイト

## ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)
(1)会報誌やSNS等を活用した情報発信	ボランティア活動等 情報発信回数 12 回	4回	4回	4回
(2)SDGsプラットフォームによる情報発信	情報発信回数	—	イベント協働開催の協力依頼1回	イベント協働開催の協力依頼1回
(3)交流連携の場づくり【新規】 (みどりと人をつなぐ仕組みの導入)		施策 22 に掲載		

区の担当課 土木部 南部・北部土木サービスセンター (1)、土木部 みどりと公園課 (2) (3)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標2 いろいろなことができる公園をつくります に対応

## ◆ パークマネジメントに寄与する事業

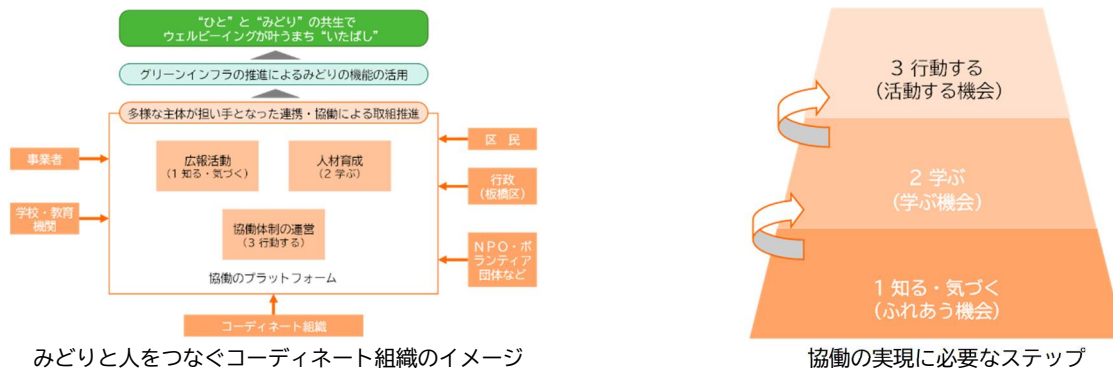
担い手の拡大と共創／自主性・自律性の向上

- 会報誌やSNS等を活用した情報発信
- SDGsプラットフォームによる情報発信
- 交流連携の場づくり

## 施策 27 みどりと人をつなぐ仕組みづくり

“ひと”と“ひと”のつながりでみどりへの取組の推進と新たな価値を創出する

- 樹林や農地、河川、まちなかのみどりなど、さまざまなみどりの空間における「知る・気づく（ふれあう）」「学ぶ（知識・技術を得る）」「行動する（活動する）」「伝えて仲間を増やす（連携する）」を循環させる仕組みを構築します。
- 地域と民間などの活力を活かしたみどりと人のつながりを持続的な活動とすることで、みどりととの関係創出・関係醸成をみんなでつなげていき、みどりと人の共生関係を築きます。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)みどりと人をつなぐ仕組みの導入【新規】		施策 22 に掲載		
(2)職員向け協働研修の実施【新規】	研修実施回数	研修実施1回	研修実施1回	研修実施1回
(3)界わい緑化による接道部緑化の推進【新規】		施策 15 に掲載		

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)

### パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

#### 担い手の拡大と共創

- みどりと人をつなぐ仕組みの導入
- 職員向け協働研修の実施

## 横断的施策：DXによるみどりの機能の発揮

### 横断的施策 DXによるみどりの機能の発揮

#### 施策 28 デジタルツールの活用

DXの推進により“ひと”と“みどり”をつなぐ

- みどり施設（街路樹など）の異常を区の点検・巡視以外の区民や施設利用者からのSNS通報により把握することで、施設の監視体制及び維持管理を充実させるとともに、まちづくりによるみどりの創出を3Dモデルの可視化を通して情報発信することにより、区民・公園利用者のみどりへの意識と協働意識の向上及び安心・安全で快適なみどり施設の維持管理を通じた、みどりの区民満足度を向上させます。



板橋区 LINE 公式アカウントによる誰でも通報可能な区道の通報システム

#### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)季節ごとの魅力情報の発信		施策 14 に掲載		
(2)区独自の魅力情報の発信		施策 14 に掲載		
(3)情報発信の効果測定		施策 14 に掲載		
(4)街路樹の維持管理におけるSNS通報システムの運用【新規】	全体の問い合わせ件数に対するSNS通報の件数割合	前年度比以上	前年度比以上	前年度比以上
(5)3D都市モデルを活用した可視化【新規】	情報発信進捗	まちづくり地域における3Dモデルの整備・情報発信	3Dモデルを用いた情報発信	3Dモデルを用いた情報発信
(6)板橋区史跡公園（仮称）のデジタルミュージアムによる公開【新規】	ホームページアクセス数	アクセス数 2,500 件	アクセス数 5,000 件	アクセス数 7,500 件

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)、土木部 南部・北部土木サービスセンター (4) まちづくり推進室 まちづくり調整課 (5)、まちづくり推進室 地区整備課 (5) 教育委員会事務局 史跡公園担当課 (6)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標2 いろいろなことができる公園をつくります に対応

#### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

担い手の拡大と共創／自主性・自律性の向上／公園DXの推進

- 季節ごとの魅力情報の発信
- 区独自の魅力情報の発信
- 板橋区史跡公園（仮称）のデジタルミュージアムによる公開

## 施策 29 E B P M（根拠に基づく政策立案）の実施

DXの推進により“ひと”と“みどり”をつなぐ

- 公園・緑地の施設改修について、地域のニーズや利用状況、地域課題・特色などに基づいた改修計画・方針による整備を実施することにより、効率的かつ透明性のあるみどり空間の整備を図ります。
- これにより、的確な動向を捉えた公園整備を実施し、区民のみどりの満足度を向上させます。
- また、河川にかかる橋りょうの点検において、新技術であるデジタルカメラを搭載したドローンを活用した、コスト削減をはじめとした効率的な施設の維持管理により、誰もが安心・安全で快適に利用できる魅力的な河川空間を創出することで、区民満足度を向上させます。



### ◆ 第1期実施計画で実施する事業と年度別実施内容

事業	評価指標	年度別実施内容		
		令和8年度（2026）	令和9年度（2027）	令和10年度（2028）
(1)公園トイレの配置・改修計画に基づく整備		施策17に掲載		
(2)アンケートのAIを用いた解析による改修検討（公園遊具の改修整備）		施策17に掲載		
(3)公園の利用実態に基づく集客エリアの拡大【新規】	集客エリアの拡大数	集客エリア拡大2エリア（町丁目）	集客エリア拡大2エリア（町丁目）	集客エリア拡大2エリア（町丁目）
(4)橋りょう点検におけるドローンの活用【新規】	点検橋りょう数 3橋	—	2橋	1橋

区の担当課 土木部 みどりと公園課 (1) (2) (3)、土木部 土木計画・交通安全課 (4)

パークマネジメント目標1 みんなで集える公園をつくります に対応  
パークマネジメント目標2 いろいろなことができる公園をつくります に対応

### ◆ パークマネジメントに寄与する事業

#### 公園DXの推進

- 公園トイレの配置・改修計画に基づく整備
- 公園の利用実態に基づく集客エリアの拡大
- 公園遊具の改修整備

## 第7章



## プランの推進と進行管理

- 1 全体的な進め方
- 2 計画別の進め方

# 7 プランの推進と進行管理

---

## P D C Aサイクルに基づく進行管理

### 全体的な進め方

- プランの進行管理にあたり、P D C Aサイクルで管理することを示しています。

### 計画別の進め方

- 第4章から第6章までの3つの計画（グリーンプラン 2035、パークマネジメント、第1期実施計画）それぞれについて、P D C Aサイクルを回す期間など計画別の進行管理の進め方を示します。



1

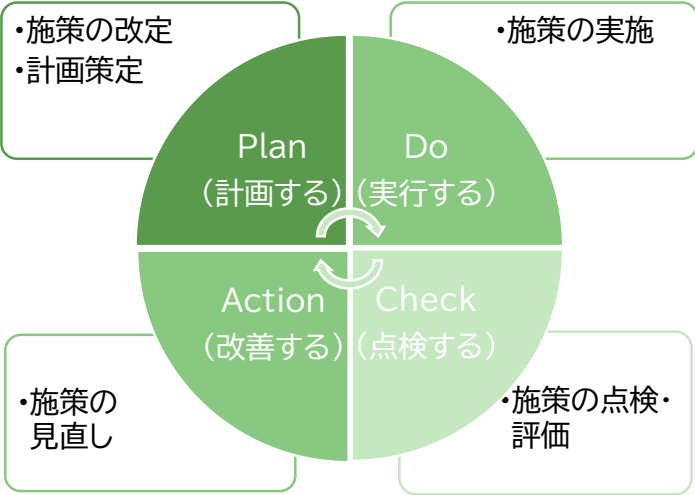
全体的な進め方

いたばしグリーンプラン 2035 の実効性を確保し、社会状況の変化や区民ニーズに柔軟に対応しながら、将来像「“ひと”と“みどり”の共生でウェルビーイングが叶うまち “いたばし、”の実現をめざすためには、実効性のある推進体制と適切な進行管理が不可欠です。

(1) PDCAマネジメントサイクルの実施と評価指標に基づく事業評価

第1期実施計画に基づく施策の推進にあたっては、計画－実行－点検・評価－改善のPDCAマネジメントサイクルを実施し、継続的な改善を図ります。各施策の進捗状況を定期的に把握し、目標達成に向けた課題や改善点を明らかにします。また、各事業の評価については、次の4つの指標に基づいて評価を行います。

◆PDCAマネジメントサイクル



◆事業評価指標

評価	判定基準
達成+	目標を上回る実績となっている。
達成	目標の全部若しくは大部分を達成している。
未達成	目標の大部分が達成されていない。
未着手	事業に着手していない。

事業の評価については、上記の評価指標を基に行います。また、「緑に関する区民アンケート（第8章 資料編 P145）」を年1回程度、区公式ホームページやSNS等を活用して実施することにより、区民満足度評価も行います。

(2) 「板橋区緑と公園の推進会議」による提案・助言

本計画の進捗状況を提案・助言する機関として、学識経験者ならびにみどりの協働活動を行っている区民等で構成される「板橋区緑と公園の推進会議」を位置づけます。同会議は、本計画の進捗状況に基づき計画の推進方策や、みどりに関する施策や課題についての提案及び助言を行います。これにより、専門的な見地や区民の視点からの提案・助言を今後の施策展開に反映させます。

## 2 計画別の進め方

### (1) いたばしグリーンプラン 2035、いたばしパークマネジメントの進行管理

第1章から第5章で構成されている「いたばしグリーンプラン 2035」は今後10年間の緑の基本計画であり、区内外の社会状況の変化や、各施策や事業の実施状況に応じて、実施方針や施策に対する見直しが必要となった場合において、改訂することとしますが原則は令和17（2035）年度まで踏襲することとします。

### (2) 実施計画の進行管理

第6章で構成されている、第1期実施計画が終了する令和10（2028）年度に、第1期実施計画の総括を行うとともに、次の第2期実施計画を作成します。

また、実施計画は毎年、進捗状況について管理を行います。

#### ◆計画別のPDCAサイクルのイメージ

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
グリーンプラン 2035	<div>計画期間</div> <div>▲ 状況に応じて見直し</div> <div>▲ 状況に応じて見直し</div>									
パークマネジメント	<div>計画期間</div> <div>▲ 状況に応じて見直し</div> <div>▲ 状況に応じて見直し</div>									
実施計画	第1期 (毎年管理)		第2期以降（期間未定） (毎年管理)							

## 第8章



## 資料編

- 1 板橋区のみどりの現況
- 2 みどりに関する区民意識
- 3 みどりに関する子どもの意識
- 4 計画の策定経過
- 5 用語解説



## 8 資料編

---

### 本計画の参考資料

#### 板橋区のみどりの 現況

- 板橋区の現在のみどりの状況として、植生被覆率や緑被率、生物の生息・生育空間の状況、都市公園の整備状況を示します。

#### みどりに関する 区民意識

- いたばしグリーンプラン 2035 の策定に先立って実施したみどりに関する区民アンケートの実施概要と結果を示します。

#### みどりに関する 子どもの意識

- いたばしグリーンプラン 2035 の策定に先立って実施したみどりに関する子どもアンケートの実施概要と結果を示します。

#### 計画の策定経過

- いたばしグリーンプラン 2035 策定に向けて実施した各種会議などの開催経過を示します。

#### 用語解説

- いたばしグリーンプラン 2035 に用いた専門用語などについて解説します。

# 1 板橋区のみどりの現況

## (1) 植生被覆率・緑被率・みどり率の変化

- 令和元（2019）年度と令和6（2024）年度の調査時における各指標の数値は以下のようになっています。
- 調査時点における緑被率は、23 区の中で上位から概ね9番目の調査値となっています（区によって調査年次が異なるため、正確な比較ではありません）。

表 植生被覆率・緑被率・みどり率

指標区分	令和元年	令和6年	増減	精度	対象とする緑地
植生被覆率	18.1%	18.6%	0.5%	0.01 m <sup>2</sup>	植生に被われた区域
緑被率	19.4%	18.8%	▲0.6%	1 m <sup>2</sup>	（樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化）区域
樹木被覆地率	13.6%	12.9%	▲0.7%	1 m <sup>2</sup>	樹木に被われた区域
草地率	4.9%	5.1%	0.2%	1 m <sup>2</sup>	草本類で被われた区域
農地率	0.6%	0.5%	▲0.1%	1 m <sup>2</sup>	農地（樹木畑・果樹園含む）
屋上緑化率	0.3%	0.3%	0.0%	1 m <sup>2</sup>	屋上（人工地盤上）緑化地
みどり率	23.4%	22.8%	▲0.5%	1 m <sup>2</sup>	（公園の全区域＋緑被地※＋水面※）区域 ※公園区域に含まれないもの

小数第2位で四捨五入しているため、増減値が合わない場合がある。

※緑被地減少の内訳

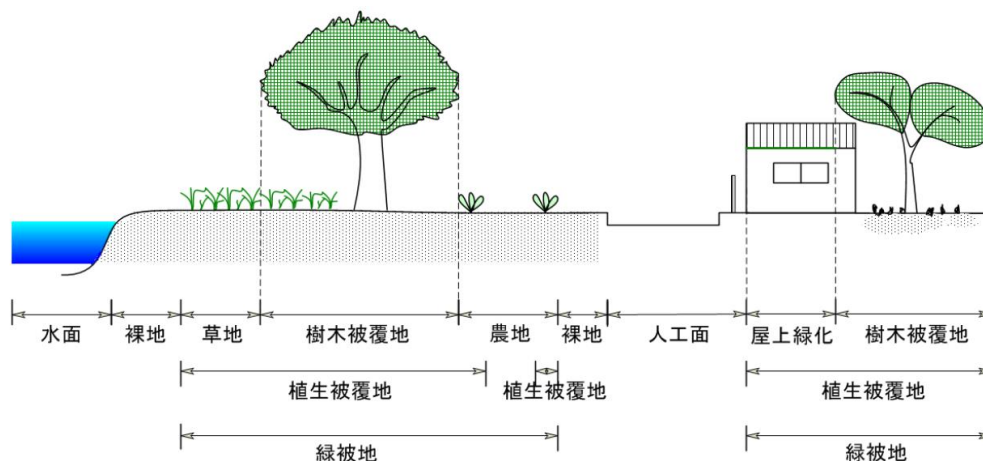
- ・公園運動場等：▲7.45ha（都立・区立公園等の樹木の剪定等による）
- ・独立住宅：▲5.88ha（屋敷林等の消失による）
- ・農業用地：▲3.36ha（畑、樹園地等の消失による）

出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（XI）令和6年度

### 図 植生被覆地・緑被地の模式図

#### ■植生被覆率と緑被率の増減について

植生被覆率は航空写真から植生を画像処理により当初抽出されたものでノイズを含み、緑被率は植生被覆率を基に、更に目視判読により区分したものであるため、各増減の傾向が異なる場合がある。



※緑被地＝樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化

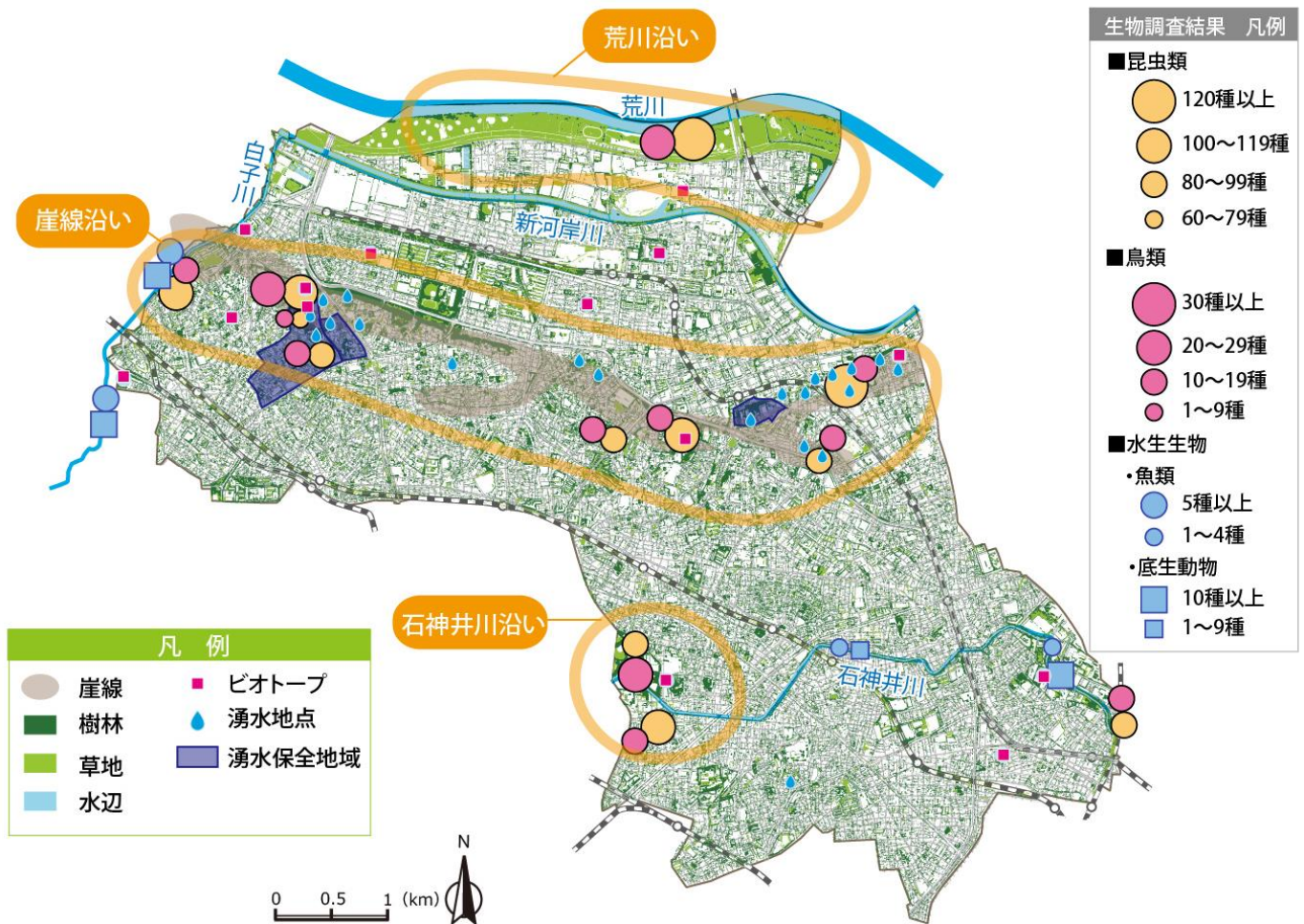
※植生被覆地＝植生指数が一定以上を示している植生（緑）に覆われている箇所

※人工面＝緑被地、裸地、水面以外の箇所

## (2) 生物の生息・生育空間

- 崖線に残る樹林や公園、河川や池は、多様な生物の生息・生育空間として重要な役割を担っています。
- 板橋区が令和6（2024）年度の春季・夏季・秋季にそれぞれ区内12か所で実施した調査によると、陸上では昆虫類311種、鳥類60種が確認されています。また、白子川（令和6（2024）年度）及び石神井川（令和7（2025）年度）では、魚類15種・底生動物36種が確認されています。
- 広大な草地が広がる荒川沿いや、良好な樹林が見られる崖線沿い（特に赤塚植物園、赤塚溜池公園付近）では、多くの種が確認されています。また大規模な公園である都立城北中央公園でも、比較的多くの種が確認されています。

図 生物の生息・生育の場の形成



この地図は、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号 MMT 利許第07-K119-6号）

生物調査データ出典

- ・ 昆虫類、鳥類：「板橋区生物多様性に関する基礎調査（令和6年度）」
- ・ 水生生物：「令和6年度白子川生物調査報告書」、  
「令和7年度石神井川生物調査報告書」



### (3) 都市公園の整備状況

- 都市公園法に基づく都市公園（都立公園を含む）の現況は、下記の状況です。
- 区民一人当たりの公園面積は、23 区中で上位から 7 番目となっています。
  - \*公園率：区面積に対する都市公園面積の占める割合。公園面積計÷区面積（都市公園面積には区立公園、都立公園、国営公園を含む。）
  - \*区民 1 人当たりの公園面積：公園面積計÷人口
  - \*原則として、1 つの公園が 2 区にまたがる場合、公園の数は、面積の占める割合の大きい方の区に計上している。そのため、区内に位置する都立公園 4 公園を全て計上した P15 の公園数 346 か所とは異なります。

表 都市公園の整備状況

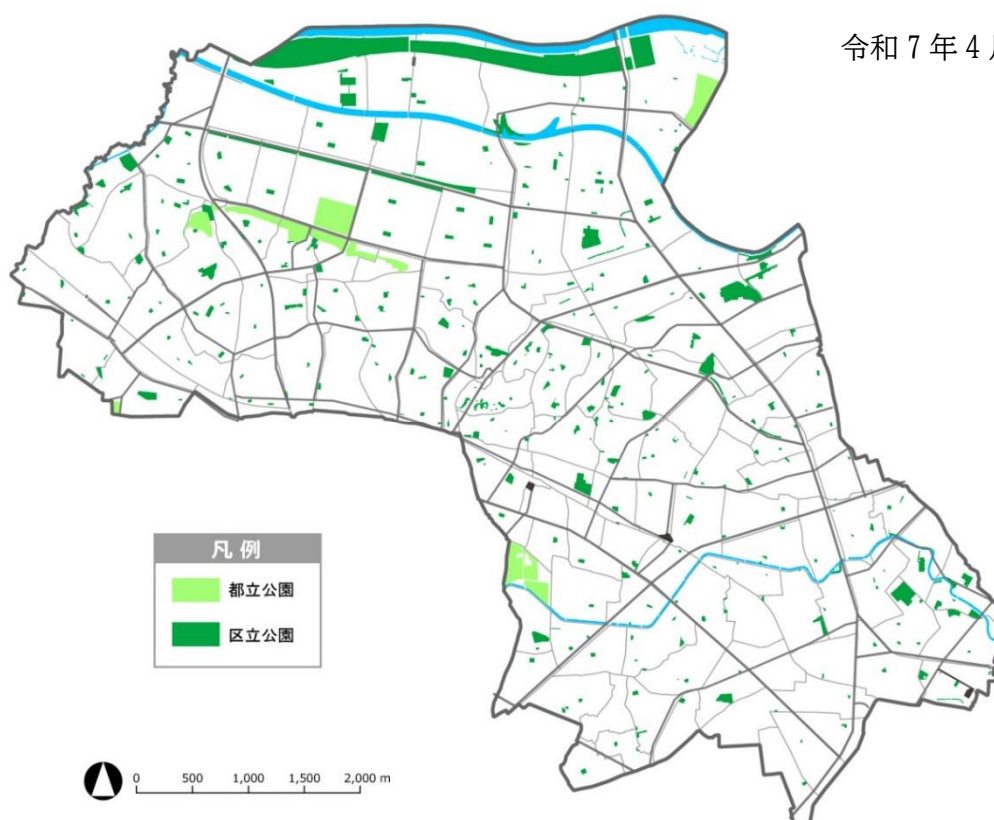
各年 4 月 1 日現在

	平成 29 年	令和 7 年	増減
公園数	347 か所	344 か所	3 か所減
（内訳）都立公園	2 か所	2 か所	変化なし
区立公園	345 か所	342 か所	3 か所減
公園面積（都立含む）	1.892km <sup>2</sup>	1.898km <sup>2</sup>	0.006km <sup>2</sup> 増
区面積	32.22km <sup>2</sup>	32.22km <sup>2</sup>	変化なし
人口（外国人含む）	571,154 人	594,444 人	23,290 人増
公園率	5.87%	5.89%	0.02% 増
一人当たりの公園面積	3.31(m <sup>2</sup> /人)	3.19(m <sup>2</sup> /人)	0.12(m <sup>2</sup> /人) 減

資料：東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表

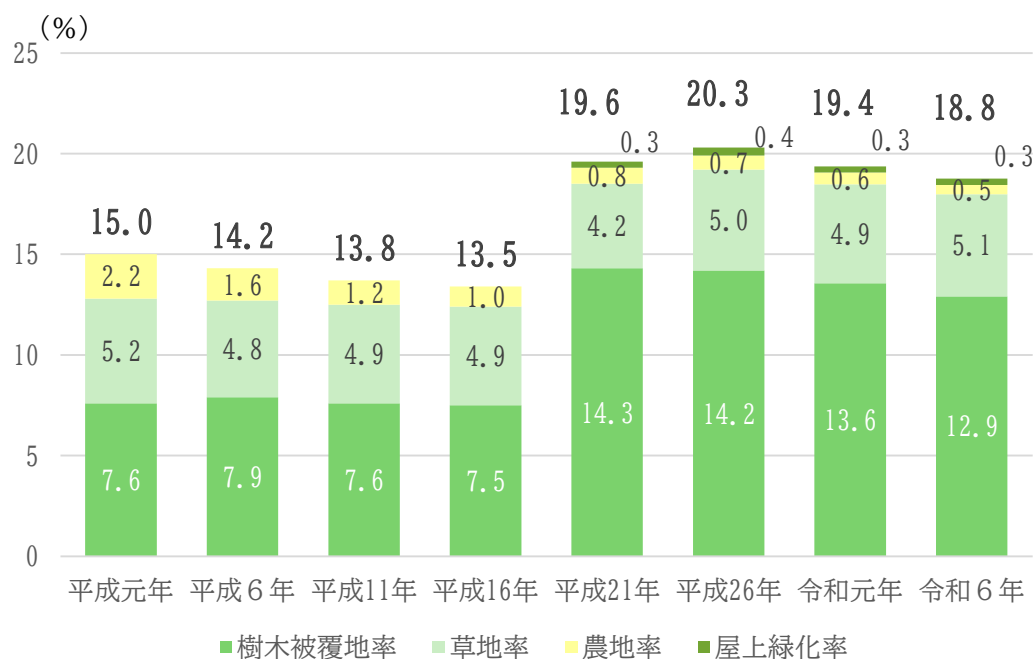
図 都市公園等の整備状況

令和 7 年 4 月 1 日現在



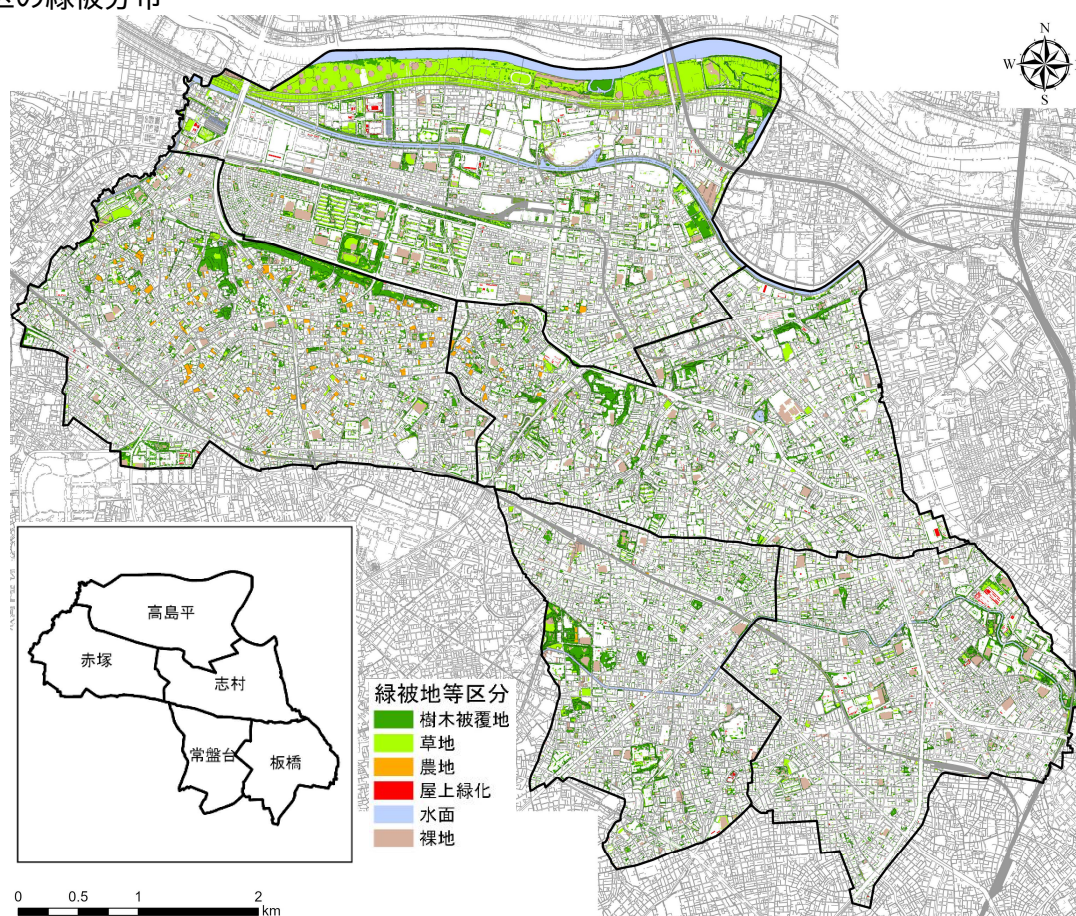
## (4) 緑被率の推移と緑被分布

図 板橋区の緑被率の推移



※図中の平成元年から平成16年までは精度100㎡、平成21年以降は精度1㎡の緑被率の値

図 板橋区の緑被分布



この地図は、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT 利許第06-119号)

資料：板橋区緑地・樹木の実態調査 (XI) 令和6年度

## 2 みどりに関する区民意識

### (1) 緑に関する区民アンケート概要

- 緑の基本計画改定に向け、区民の緑に関する意識を調査し、計画に反映するため、15歳以上の板橋区民に対して（無作為に3,000名を抽出）アンケートを行いました。
- アンケートは全28問で構成されており、問1～問12が「緑の基本計画」に関する調査、問13～問23までが「パークマネジメント」に関する調査となっています。また問24～28までは回答者についての質問となっています。
- アンケートの概要と緑の基本計画に関するアンケート結果は以下の通りです。

表 区民アンケートの調査概要

調査期間	令和6年11月1日～11月15日
調査対象者	15歳以上の板橋区民 及び 板橋区ホームページ閲覧者
配布地域	板橋区内全域
配布回収方法	郵送配布、自記入郵送回収もしくは Web アンケートフォームへの記入
配布数	3,000 通（15歳以上の板橋区民を対象とした無作為抽出）
回収数	総合計 1,293 通回収 内訳：紙面回答による郵送回収 923 通 Web 回答 346 通 板橋区ホームページ経由による回答 24 通
回収率	42.3%（板橋区ホームページ経由による回答を除いた回収率）

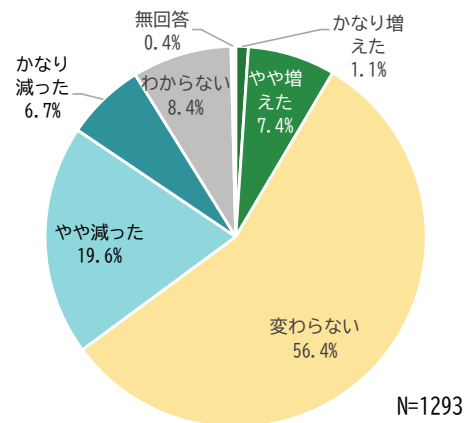


## (2) アンケート結果（抜粋）

### 1) 緑の量や質について

- 最近5年間で、お住まいのまわりのみどりの量は、どのように変わりましたか。

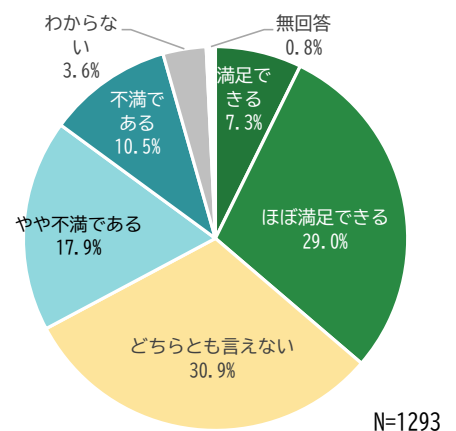
「変わらない」が56%を占め最も多く、「やや減った」「かなり減った」をあわせて26%、「かなり増えた」「やや増えた」をあわせて9%でした。



- お住まいのまわりのみどりは、「地域の魅力を高める」という点からみて、満足できますか。

「満足できる・ほぼ満足できる」が36%、「やや不満である・不満である」が27%、どちらとも言えないが31%と、ほぼ均衡した結果でした。

グリーンプラン 2025 の目標値であるみどりの満足度 40% に対して、「満足できる」と「ほぼ満足できる」で合わせて 36.3%となっており、目標値に届いていません。

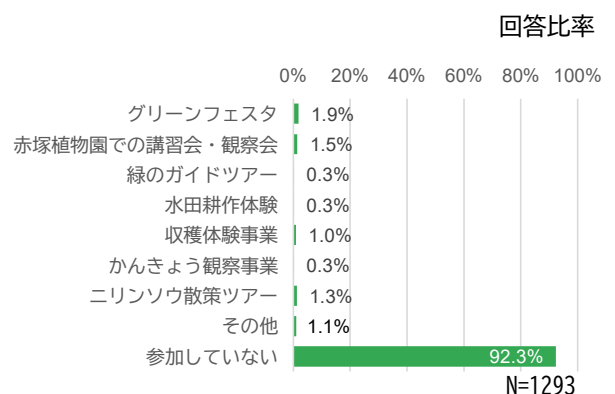


### 2) 区の実施している緑に関する取り組みについて

- 5年間の中で、みどりに関わるイベントに参加したことがありますか。（あてはまるものを全てを選択）

参加した人の中では、多い方から順にグリーンフェスタ、赤塚植物園での講習会・観察会、ニリンソウ散策ツアーとなっています。

「参加していない」が92%となっています。

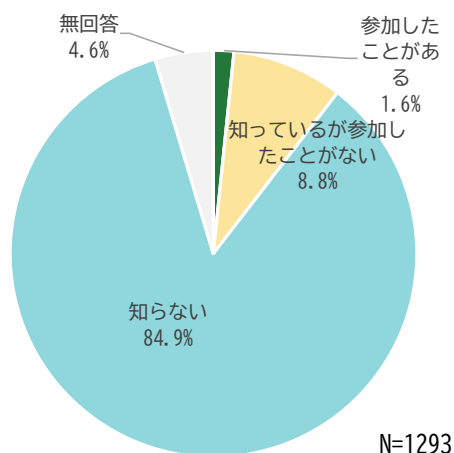


- 公園等を区民と協働して管理する取組についてご存知ですか。

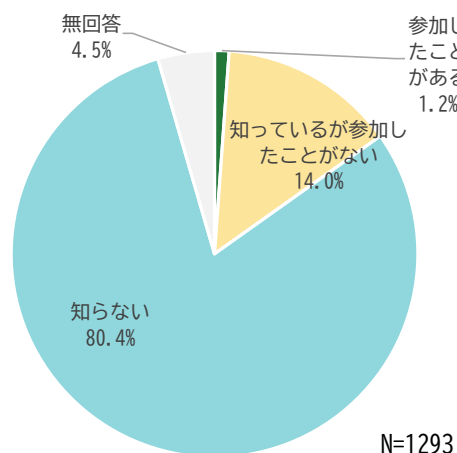
- 地域がつくる公園制度を知っている人は全体の10%となっています。
- 花づくりグループを知っている人は全体の15%となっています。
- 公園刈り込みボランティアを知っている人は全体の11%となっています。
- 板橋森林ボランティアを知っている人は全体の7%となっています。



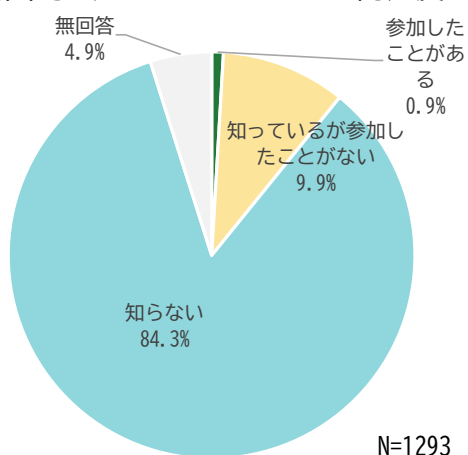
地域がつくる公園制度の認知度



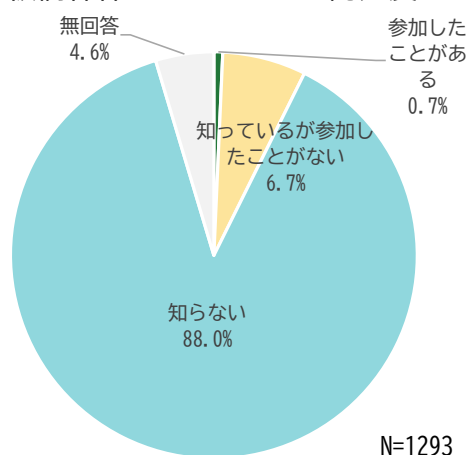
花づくりグループの認知度



公園刈り込みボランティアの認知度



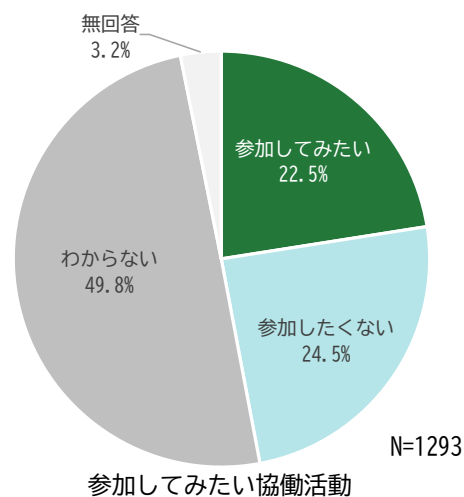
板橋森林ボランティアの認知度



■ みどりや公園に関する協働活動に参加してみたいと思いますか？

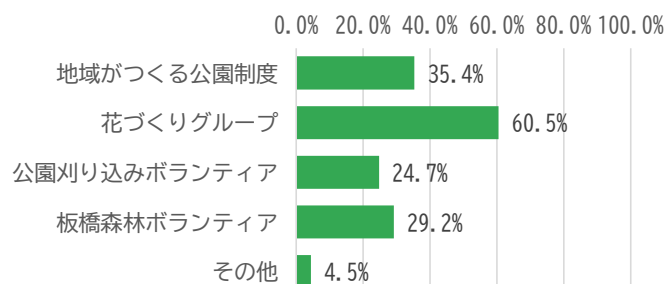
「参加してみたい」が23%、「参加したくない」が25%となっており、「参加してみたい」が「参加したくない」を2ポイント下回っています。

「参加してみたい人」の中では、花づくりグループに参加してみたい人が61%と最も多く、地域がつくる公園制度が35%、森林ボランティアが29%、公園刈り込みボランティアが25%となっています。



参加してみたい協働活動

回答比率

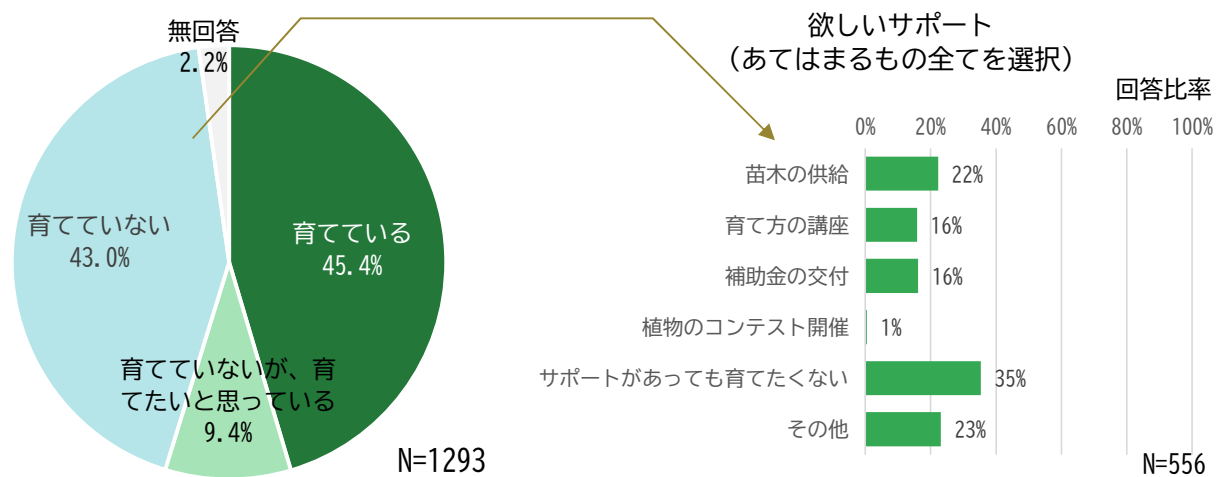


3) 区民の緑化の取組について

- ご自宅でみどり（芝生、畑等も含む）を育てていますか？  
どのようなサポートがあったら育てたいと思いますか？

「育てている」「育てていないが、育てたいと思っている」併せて 55%となっており、「育てていない」人の 43%を上回っています。

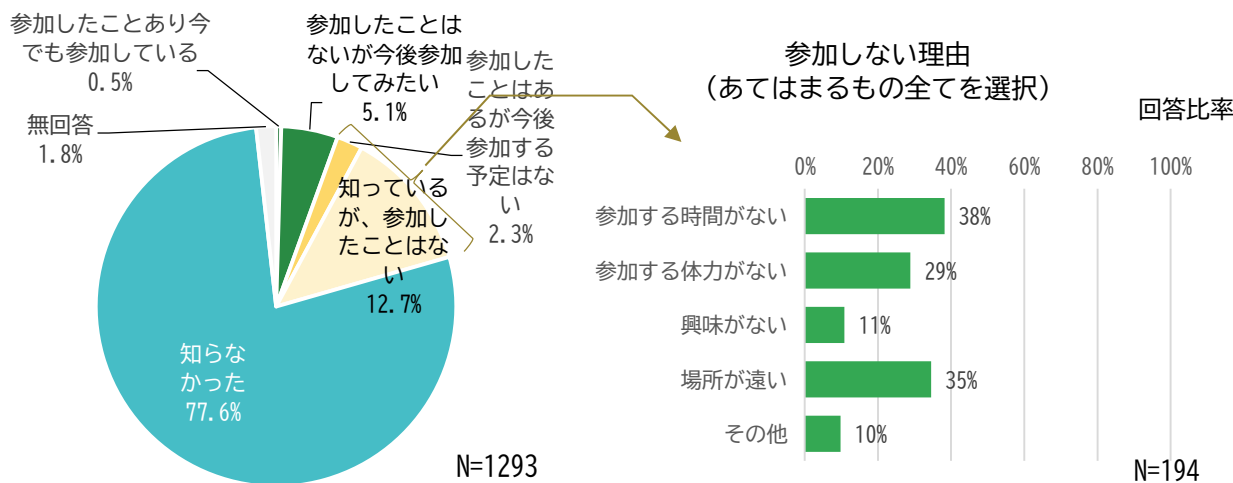
「育てていない」人の中では、育てたくない人は 35%となっています。欲しいサポートとしては、苗木の供給が 22%、育て方の講座、補助金の交付がそれぞれ 16%となっています。



- 講習会や観察会、緑化相談に参加したことはありますか？

「参加したことがあり今でも参加している」「参加したことはないが今後参加してみたい」併せて 5.6%となっています。

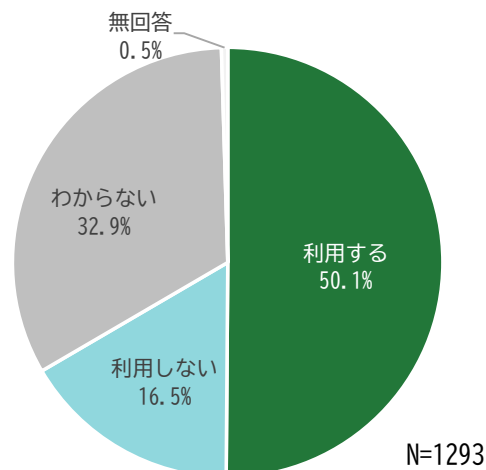
「参加したことはあるが今後参加する予定はない」「知っているが、参加したことはない」は合わせて 15.0%となっています。今後参加しない、参加したことがない理由としては、参加する時間がないが 38%、場所が遠いが 35%、参加する体力がないが 29%となっています。



## 4) パークマネジメントについて

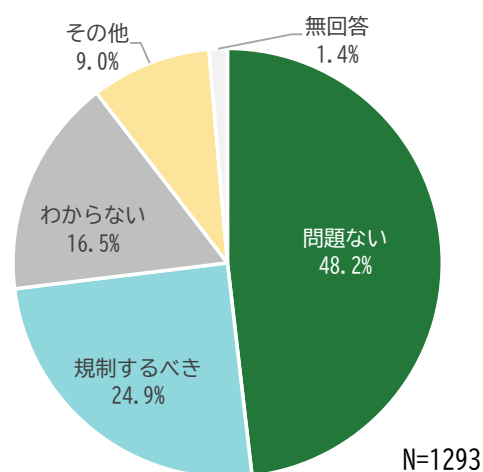
## ■ 公園にキッチンカーが来たら利用しますか？

「利用する」が50%、「利用しない」が17%となっています。利用しない理由としては、「周辺の売店等で十分」が57%、「金額が高い」が30%となっています。



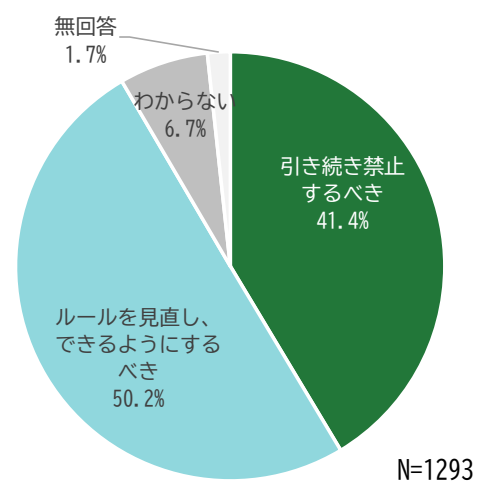
## ■ 公園で、特定の事業者が営利目的の活動（物品販売等）をすることについて、どのように思いますか？

「問題ない」が48%、「規制するべき」が25%となっています。



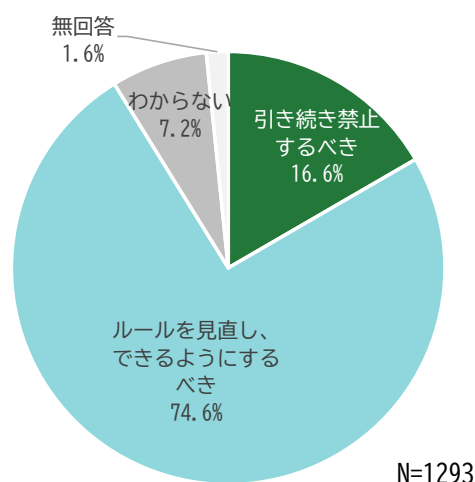
## ■ 公園内で「花火」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止するべき」が41%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が50%となっています。



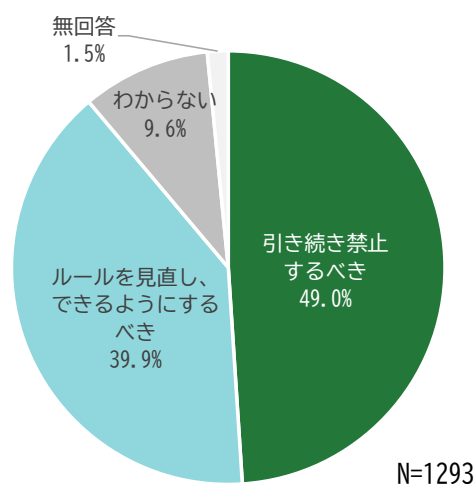
- 公園内で「ボール遊び」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止すべき」が17%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が75%となっています。



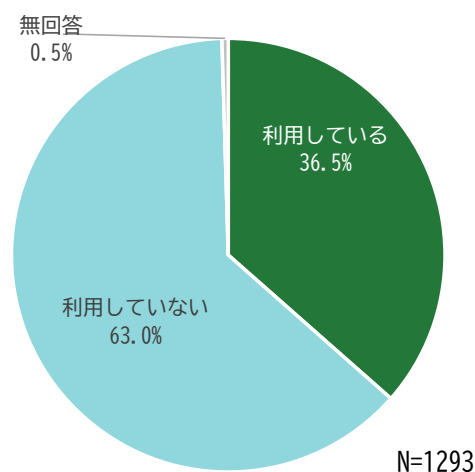
- 公園内で「自転車の乗入れ」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止するべき」が49%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が40%となっています。



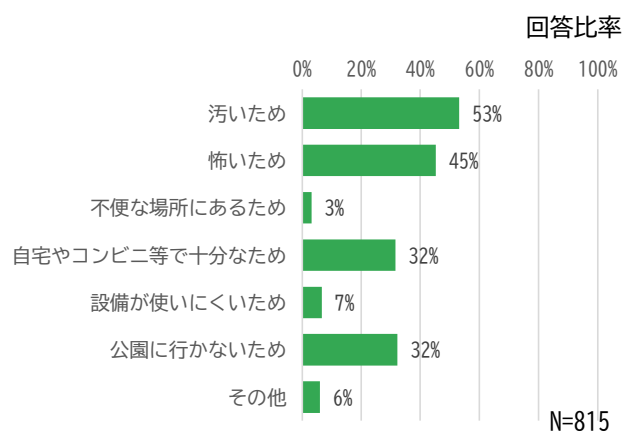
- 公園のトイレは利用していますか？

「利用している」が37%、「利用していない」が63%となっています。



- 公園のトイレを利用していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

「汚いため」が53%、「怖いため」が45%、「自宅やコンビニエンスストア等で十分なため」、「公園に行かないため」がそれぞれ32%となっています。





### 3 みどりに関する子どもの意識

#### (1) 緑に関する子どもアンケート概要

- 緑の基本計画改定に向け、将来の板橋区を担う子どもたちの緑に関する意識を調査し、計画に反映するため、区の祭事に参加した子どもたちにアンケートを行いました。
- アンケートは全9問で構成されており、問1～問2が「みどり」に関する調査、問3～問8が「公園」に関する調査となっています。また問9は回答者についての質問となっています。
- アンケートの概要と子どもアンケート結果は以下の通りです。

表 子ども向けアンケート調査の概要

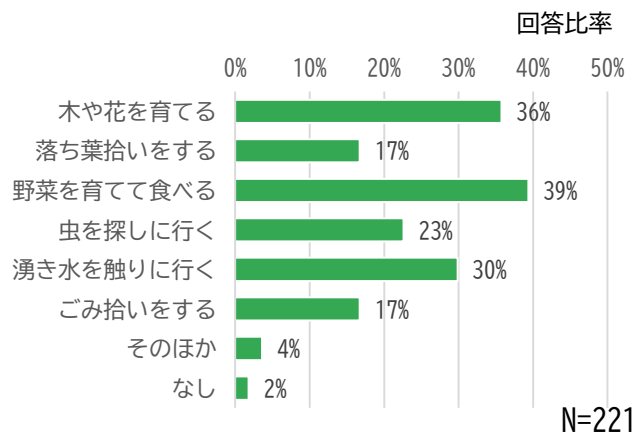
調査期間	令和6年10月19日・20日（板橋区民まつり） 11月9日・10日（板橋農業まつり）	
調査対象者	区内在住の幼稚園児～中学3年生	
調査方法	調査員による聞き取り調査	
回収数	総合計 221 通回収	
	実施祭事、実施日	回収数
	板橋区民まつり（10月19日（土））	59 票
	板橋区民まつり（10月20日（日））	52 票
	板橋農業まつり（11月9日（土））	54 票
	板橋農業まつり（11月10日（日））	56 票
合計	221 票	

## (2) アンケート結果（抜粋）

### 1) みんなと一緒にやってみたいこと

- みどりと接する取組として、あなたがみんなと一緒にやってみたいことは何ですか？（あてはまるもの全てを選択）

「野菜を育てて食べる」ことや、「木や花を育てる」ことが全体の40%近くに上っています。

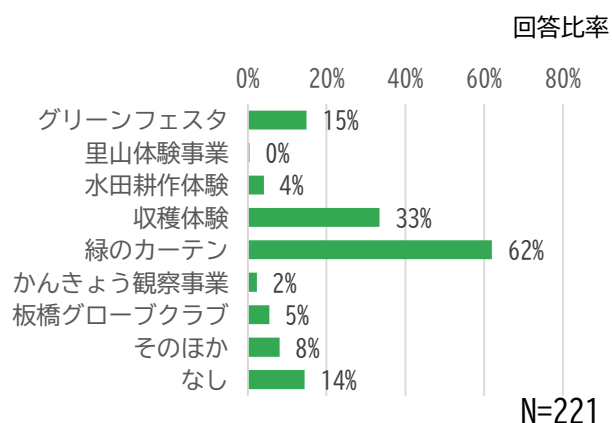


### 2) 区の実践の認知度

- みどりと接する板橋区の実践について、知っているものはありますか？（あてはまるもの全てを選択）

「緑のカーテン」は62%の子どもが知っています。学校で行っていることから、認知度が高いものと考えます。次いで「収穫体験」が33%、「グリーンフェスタ」が15%と続いています。体験したことのある実践で認知度がある一方、体験したことのない実践の認知度が低い傾向があります。

知っているものがなかった子どもも14%(32人)存在しました。



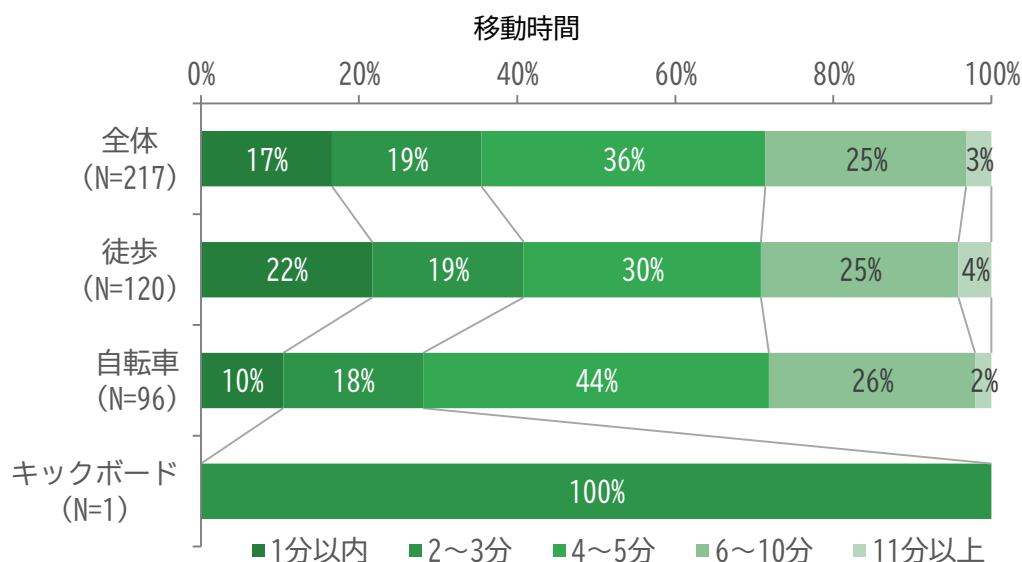
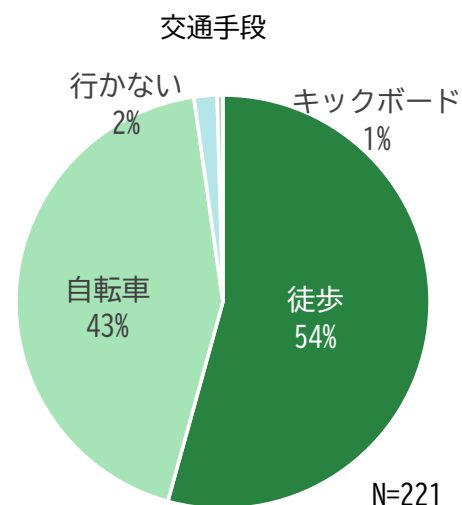
## 3) 公園について

- 普段遊んでいる公園は、おうちからどれくらいで行けるところにありますか？

交通手段では自転車よりも徒歩の方がやや多い結果となりました。その他は5名おり、そのうち4名は公園で遊ばない人、1名はキックボードでした。

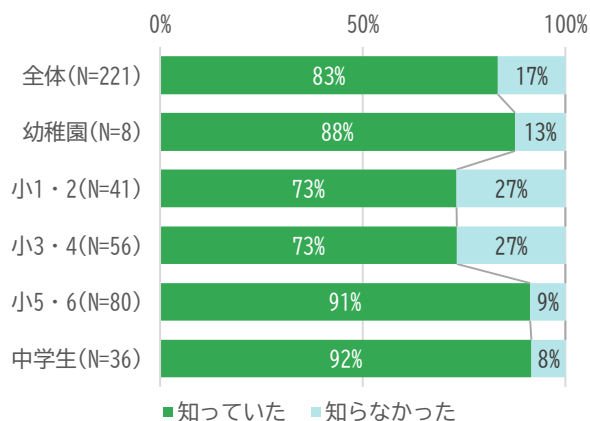
移動時間では3分以内、4～5分がそれぞれ36%ずつで、5分以内が72%に上ります。6～10分も25%おり、全体の97%が10分以内です。

交通手段別では自転車は徒歩と比べて、3分以内の割合が下がり、4～5分の割合が上がります。徒歩3分と自転車1分を同等と考えると、徒歩3分以上の距離になると、自転車を使う人が出始め、徒歩10分以上（自転車3.3分以上）になると、ほぼ自転車となると考えることができます。



- 公園で花火ができないことは知っていましたか？

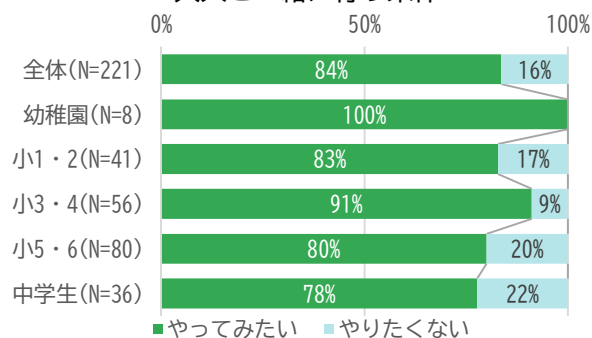
子どもたちの83%は花火が禁止されていることを知っています。



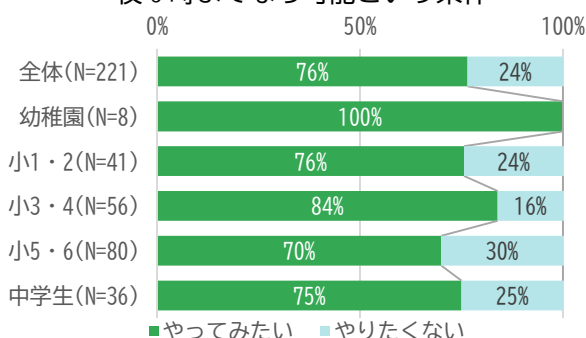
## ■ ルールがあっても<sup>はなび</sup>花火を<sup>おも</sup>したいと思いませんか？

どのルールについても 80%前後の子どもたちはやってみたいと回答しています。このうち、夜8時までなら可という条件については、他の2つよりも賛同率が低くなります。

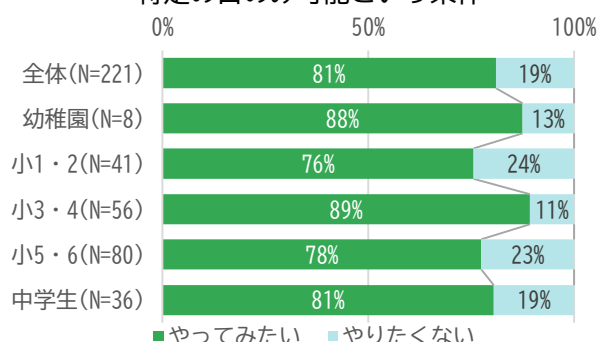
大人と一緒に<sup>はなび</sup>花火をする条件



夜8時までなら可能という条件



特定の日のみ可能という条件

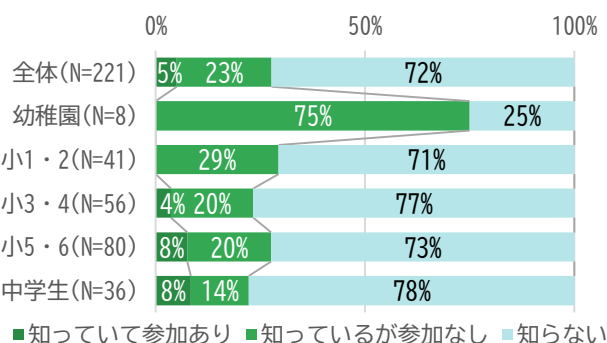


## 4) こども動物クラブについて

### ■ 「こども動物<sup>どうぶつ</sup>クラブ」を知<sup>し</sup>っていますか？

こども動物クラブの認知度は28%、そのうち参加したことがある子どもは5%となっています。参加したことがない子どもは23%となっています。

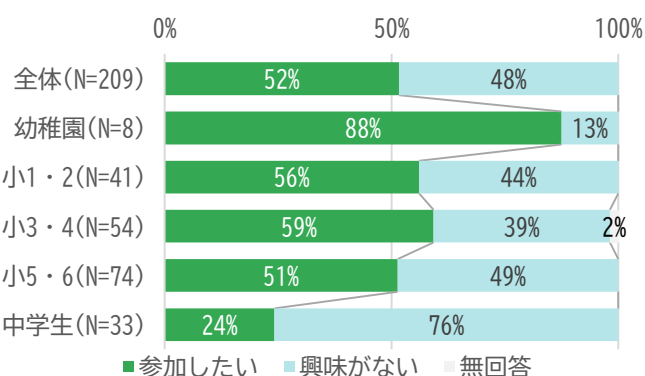
学年が上がるにつれて、参加したことがある子どもの割合が上がります。



### ■ こども動物<sup>どうぶつ</sup>クラブに<sup>さんか</sup>参加してみたいと思<sup>おも</sup>いませんか？

こども動物クラブを知らない、もしくは参加したことがない95%の子どもたちのうち、約半数は参加したいと回答していることから、こども動物クラブの知名度向上により参加者が増える可能性があるものと考えられます。

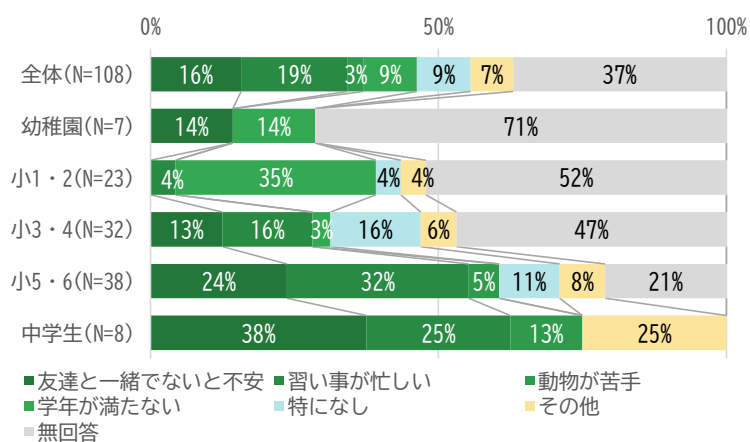
ただし、学年が上がるにつれて、参加意向の割合が下がります。





■ こども動物クラブに参加できない理由があったら教えてください。

「習い事が忙しい」が19%、「友達と一緒にないと不安」が16%となっています。一方、「特になし」と回答した人も9%に上っています。



## 4

## 計画の策定経過

## 【計画策定経過】

年月	内容
令和6年10月19・20日	緑に関する子どもアンケート（板橋区民まつり）
令和6年11月1日～15日	緑に関する区民アンケート
令和6年11月9・10日	緑に関する子どもアンケート（板橋農業まつり）
令和6年11月29日～12月6日	第1回改定委員会（学識経験者等、書面開催）
令和6年12月24日	庁議（連絡調整会議）
令和7年1月22日	第2回改定委員会（学識経験者等）
令和7年2月17日	都市建設委員会
令和7年4月7日～11日	第2回庁内検討会（課長級職員）
令和7年5月1日	第3回改定委員会（学識経験者等）
令和7年6月2日	第4回改定委員会（学識経験者等）
令和7年6月26日～7月3日	第1回ワーキンググループ（係長級職員）
令和7年7月10日～17日	第3回庁内検討会（課長級職員）
令和7年8月27日	第5回改定委員会（学識経験者等）
令和7年10月21日	庁議（連絡調整会議）
令和7年11月6日	都市建設委員会
令和7年11月10日～24日	パブリックコメント
令和7年12月3日～10日	第2回ワーキンググループ（係長級職員）
令和7年12月24日	第4回庁内検討会（課長級職員）
令和8年1月29日	第6回改定委員会（学識経験者等）
令和8年3月26日	庁議（経営戦略会議）
令和8年4月16日	都市建設委員会

## 【板橋区緑の基本計画改定委員会委員名簿】

学識経験者	委員長	池邊 このみ	千葉大学グランドフェロー	改定部会 部会長
	委員	萩野 一彦	株式会社ランドプランニング代表取締役 千葉大学 客員教授	同 部会員
	委員	佐藤 留美	特定非営利活動法人NPO birth (バース) 事務局長	同 部会員
区民委員	委員	山口 総香	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	高田 美種	板橋区町会連合会 副会長	
	委員	大塚 かな	板橋区立小学校 PTA 連合会 ピーポー110 番委員会委員長	
	委員	篠原 ゆり子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	春日 隆	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	水村 由貴子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	関 明子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	西山 寛利	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
区職員	委員	宮津 毅	土木部長	
	委員	岩田 雅彦	資源環境部長	～令和7年3月
	委員	雨谷 周治	資源環境部長	令和7年4月～
	委員	内池 政人	都市整備部長	
	委員	田島 健	まちづくり推進室長	
	委員	林 栄喜	教育委員会事務局次長	

# 【板橋区緑の基本計画改定庁内検討会】

部署	職名	備考
土木部	土木部長	
	土木計画・交通安全課長	
	管理課長	
	工事設計課長	
	みどりと公園課長	事務局
	南部土木サービスセンター所長	
	北部土木サービスセンター所長	
	かわまちづくり計画担当課長	
	公園整備担当課長	
政策経営部	政策企画課長	
	ブランド戦略担当課長	
総務部	総務課長	
危機管理部	防災危機管理課長	
区民文化部	地域振興課長	
	スポーツ振興課長	
産業経済部	産業振興課長	
	くらしと観光課長	
	赤塚支所長	
健康生きがい部	長寿社会推進課長	
福祉部	生活支援課長	
	障がい政策課長	
子ども家庭部	子ども政策課長	
資源環境部	環境政策課長	
都市整備部	都市計画課長	
まちづくり推進室	まちづくり調整課長	
	地区整備課長	
	鉄道立体化推進課長	
	高島平まちづくり推進課長	
教育委員会事務局	教育総務課長	
	指導室長	
	新しい学校づくり課長	
	生涯学習課長	
	史跡公園担当課長	



## 5

## 用語解説

用語	解説
あ 行	
アクティビティ	<p>公園、広場、道路空間といった公共空間で行われる、にぎわいや交流を生み出す様々な活動のことです。</p> <p>公園でのイベントやスポーツ、レクリエーション活動などに加え、国土交通省が推進する「ウォーカブル（居心地が良く歩きたくなる）なまちづくり」では、道路空間にオープンカフェやベンチを設置して滞在できるようにしたり、路上でマルシェや催しを行ったりすることも含まれます。</p>
E B P M （証拠に基づく政策立案）	<p>Evidence-Based-Policy-Making の略です。</p> <p>アンケート結果や利用データなどの客観的な証拠（データ）にもとづいて、政策や事業の計画を立て、実行していくことです。</p>
ウェルビーイング（Well-Being）	<p>ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に満たされた状態を指します。</p> <p>健康で幸福な生活を送ることができることを意味し、地域づくりや政策においても重視されています。</p>
ウォーカブル	<p>ウォーカブルとは、歩行者に優しい環境を指し、歩きやすく、居心地の良い空間を提供することを目的としています。</p> <p>地域の活性化や健康促進に寄与します。</p>
雨水浸透施設	<p>雨水を地面に浸透させることにより、下水道管などへの水の集中を緩和し、自然の水環境を回復させるための施設です。</p> <p>雨水浸透ます、雨水浸透トレンチ、透水性舗装、雨水浸透側溝などがあります。</p>
エコロジカルネットワーク	<p>都市生態系の保全・再生を図るため、都市全体を対象に、生物の生息・生育空間となる緑を核として、都市内に点在する自然や緑地をネットワークとして連結するシステムです。</p>
S D G s	<p>Sustainable-Development-Goals（持続可能な開発目標）の略です。2030年までに、より良い世界をめざすための17の国際目標です。</p>

用語		解説
	NPO	Non-Profit-Organization（非営利組織）の略称です。医療・福祉や環境保全、災害復旧など様々な分野で活動する民間の非営利組織の総称です。
	オープンスペース	公園、広場、河川、湖沼、山林、農地など、建物によって覆われていない土地で、交通用地を除いたものの総称です。 一般的には、都市公園・広場などの公共空地を示す言葉として用いられています。
か 行	カーボンニュートラル	二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。
	回遊性	まちの中を人々が巡り歩きやすい度合いのことです。回遊性が高いまちは、にぎわいや発見があり、歩くことが楽しくなります。
	強剪定	樹木の枝を、短く、太い部分で切り詰める剪定方法のことです。効率を重視するあまり、樹木の見た目を損なったり、木陰を減らしてしまったりすることが課題となる場合があります。
	共創	区民、事業者、行政などが対等なパートナーとして、それぞれの役割を分かち合い、共に考え、行動することで、新たな価値を創り出していくことです。
	協働	区民、事業者、行政などが互いに協力し合い、共通の目標に向かって活動することを指します。地域の課題解決やまちづくりにおいて重要な概念です。
	グリーンインフラ	道路や水道のような社会基盤（インフラ）と同じように、みどりが持つ防災や環境、健康などの様々な機能を、まちづくりに活かしていく考え方です。
	地域貢献	民間事業者などが大規模なマンション建設や市街地開発を行う際に、その事業の一環として、誰もが利用できる公園や広場、通路などを整備し、提供することです。 地域の環境や利便性の向上につながります。

用語		解説
	コーディネート機能	みどりづくりに関わる区民、事業者、団体、行政などをつなぎ、連携・協働が円滑に進むように調整・支援する役割のことです。
	公民連携（Public-Private Partnership）	公（行政）と民（区民、事業者、団体など）が、お互いの強みを活かして協力し、まちづくりなどを進めていくことです。
	景観形成重点地区	景観計画の対象区域のうち、特に良好な景観の形成を図る必要があると認める区域で、地区独自の景観に関するルールを定めます。
さ 行	市街地再開発事業	老朽化した建物が密集していたり、道路や公園などの公共施設が不足していたりして都市機能が低下している市街地において、土地の利用をより合理的で健全なものにし、都市機能を新しく向上させることを目的とした事業です。
	指定管理者制度	公園や体育館といった公共施設の管理・運営を、民間事業者やNPOなどの団体に代行してもらう制度です。 民間のノウハウを活かした、質の高いサービス提供などが期待されます。
	樹冠	一本の木の、枝や葉が茂っている部分全体のことで、樹冠が豊かに広がることで、夏には涼しい木陰をつくってくれます。
	蒸発散（蒸散作用）	植物の葉などから、水分が水蒸気となって放出される現象です。 蒸散作用の時に発生する気化熱によって、周囲の温度を低下させる作用があります。
	森林環境税・森林環境譲与税	国内の森林を整備・保全するために創設された税金です。 「森林環境税」として国民が負担し、その税収が「森林環境譲与税」として板橋区などの自治体に配分され、みどりを守る活動などに活用されます。
	生産緑地地区	市街化区域内にある農地のうち、良好な生活環境を確保するため、法律に基づき計画的に保全することが定められた地区です。

用語		解説
	生物多様性	生き物たちの豊かな個性とつながりのことを言います。多様性には森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの自然があることを示す生態系の多様性、動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいることを示す種の多様性、同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があることを示す遺伝子の多様性の3つのレベルがあります。
	ゼロカーボン（Zero Carbon）	二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林などの吸収源による除去量との間の均衡した状態。本計画では、みどりが持つCO2吸収・固定の力を活かすことで、その実現に貢献するとしています。
た 行	地球温暖化	人間活動の拡大により、大気中の二酸化炭素・メタンなどの温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇することです。 海面の上昇や異常気象の増加、生態系への影響や砂漠化の進行など、様々な影響が懸念されます。
	中間支援組織	行政と地域の間になんか様々な活動を支援する組織のことです。 多くはNPOへの支援などを主目的として発足しているケースが多いです。
	DX（デジタル・トランスフォーメーション）	デジタル技術を使って、私たちの暮らしや行政サービスなどを、より便利で豊かなものに変えていくことです。
	特別緑地保全地区	都市の良好な自然環境を維持するため、法律に基づき特に重要な地区として指定された緑地です。 建物の建築などの行為が制限されます。
な 行	ネイチャーポジティブ	ネイチャーポジティブとは、生物多様性の保全と回復をめざす考え方で、自然環境を積極的に守り、改善していくことを指します。協働で取り組むべき重要な目標の一つです。
は 行	PARK-PFI 制度	都市公園において飲食店、売店などの公園施設の設置又は管理を行う民間事業を、公募により選定する手続き（公募設置管理制度）です。事業者が設置する施設（公共還元型収益施設）から得



用語		解説
		られる収益を公園整備に還元することを条件に、建ぺい率や占用物件の特例などがインセンティブとして適用されます。
	パークマネジメント	公園を上手に使いこなし、その価値を最大限に引き出すための運営術のことです。区民や事業者と連携し、公園を地域の宝物にしていくための考え方や仕組みを指します。
	バリアフリー	高齢者・障がい者などが社会生活をする上で障壁（バリア）となるものを除去することです。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁など、全ての障壁を除去するという考え方です。
	ヒートアイランド現象	人工排熱の増加と地表面の人工化により、都市部の気温が周辺部よりも島状に高くなる現象です。
	PPP／PFI (ピーピーピー/ピーエフアイ)	<p>公共施設の整備や運営に、民間の資金やノウハウを活かす仕組みのことです。「公民連携」の代表的な手法です。</p> <p>PPPは（Public-Private-Partnership）パブリック・プライベート・パートナーシップの略です。</p> <p>PFI（Private-Finance-Initiative）はプライベート・ファイナンス・イニシアティブの略です。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を行う事業です。</p>
	ビオトープ	野生生物の生息可能な自然環境を復元するための場所です。
ま 行	まちづくりGX（まちづくり・グリーン・トランスフォーメーション）	気候変動への対応や生物多様性の確保、Well-Beingの向上といった社会状況の変化に対応するための都市緑地の多様な機能の発揮を図るものです。
	マルシェ	フランス語で市場のことです。
や 行	屋敷林	農家などの屋敷の周囲を取り囲む林で、防風、遮光、防火などの機能のほか、落ち葉などによる燃料や堆肥の調達場としての機能も持ちます。
	ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別、国籍などに関わらず、できるだけ多くの人が利用可能であるように、建物、空間をデザインすることです。





9つのめざす姿  
(環境)のシンボル

板橋区基本構想において、区が将来像  
「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち “板橋”」の  
実現に向けて掲げた「9つのめざす姿」を  
視点ごとに象徴したものです

いたばしグリーンプラン 2035

編集 板橋区土木部みどりと公園課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

TEL 03-3579-2525 FAX 03-3579-2547

d-koen@city.itabashi.tokyo.jp

令和8年3月発行

刊行物番号 RXX-XXX

